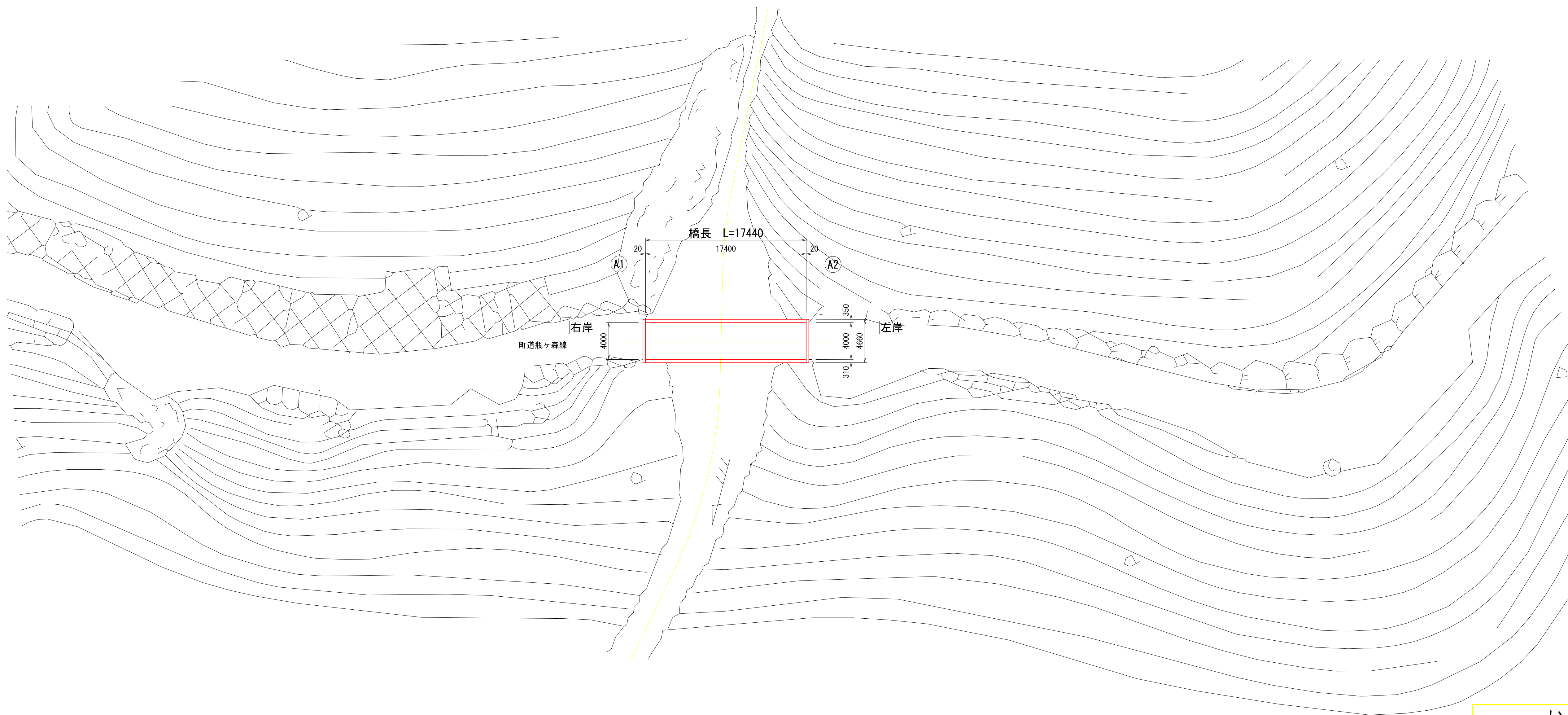
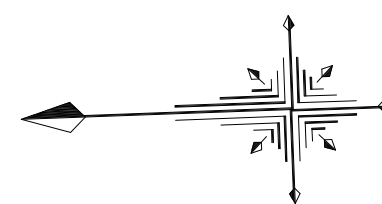


平面図

上瀬戸橋2号(町道瓶ヶ森線)

S=1:250



注記)
・現況地形は道路台帳を基に作成している。
・既設橋の形状は現地調査に基づき作成している。

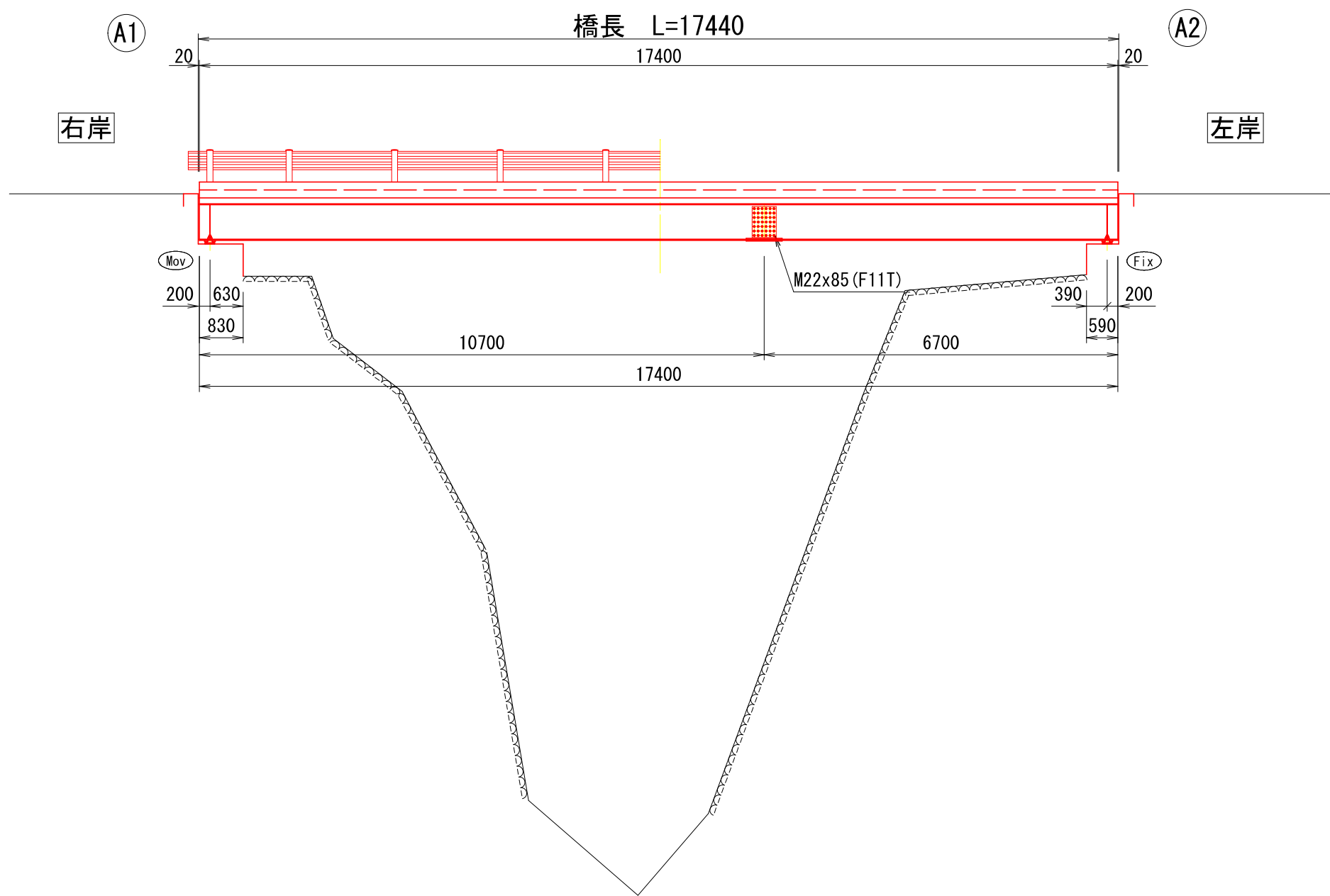
いの町			
工 事 名	6道メ工第83号 令和6年度 町道瓶ヶ森線 上瀬戸橋2号橋梁補修工事		
図面名称	平面図	縮 尺	S=1:250
路線河川名	町道瓶ヶ森線(上瀬戸橋2号)		
工事箇所	高知県 吾川郡いの町 中野川		
設計種別		図 面 番 号	1 13
事務所名	いの町本川総合支所 産業建設課		

既設橋一般図

上瀬戸橋2号(町道瓶ヶ森線)

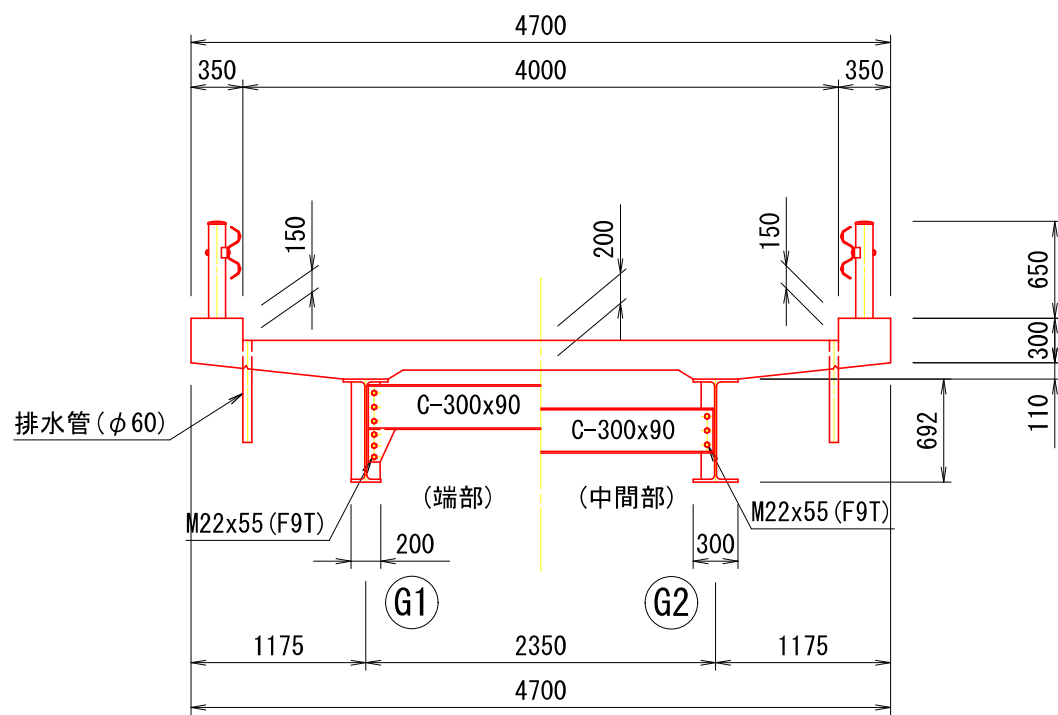
側面図

S=1:100



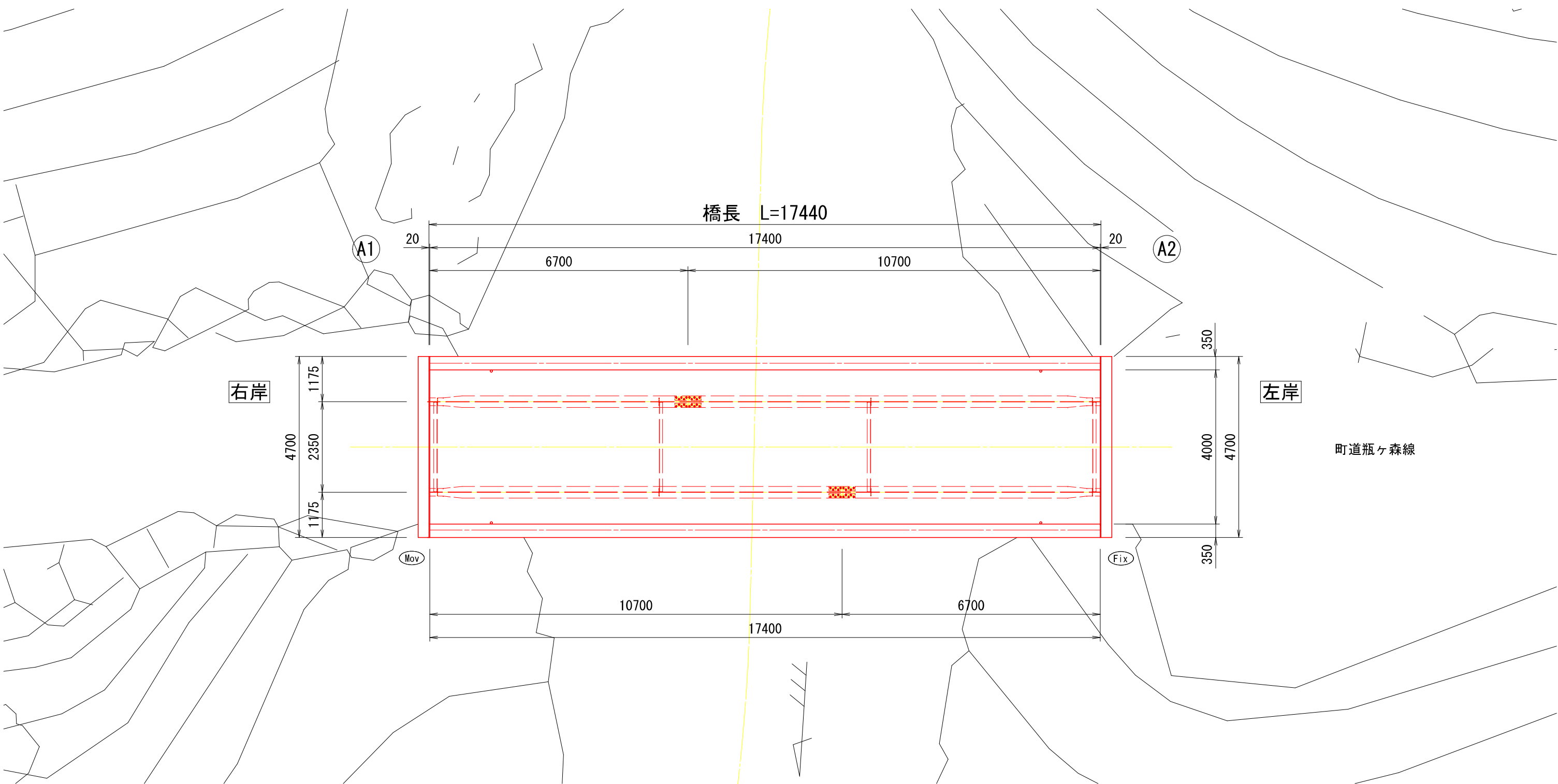
上部工断面図

S=1:50



平面図

S=1:100



既設橋 設計条件(推定)		
橋 種	道路橋	
橋 長	L=17.44m	
幅 員	車道幅員	W=4.00m
	歩道幅員	-
	合 計	W=4.00m
上部構造	H形鋼(不明)	
	A1橋台	小橋台
	A2橋台	小橋台
設計荷重	不明	
平面線形	不明	
補修・補強履歴	不明	
架設年次	1974年(S49年、供用46年)	
適用示方書	不明	

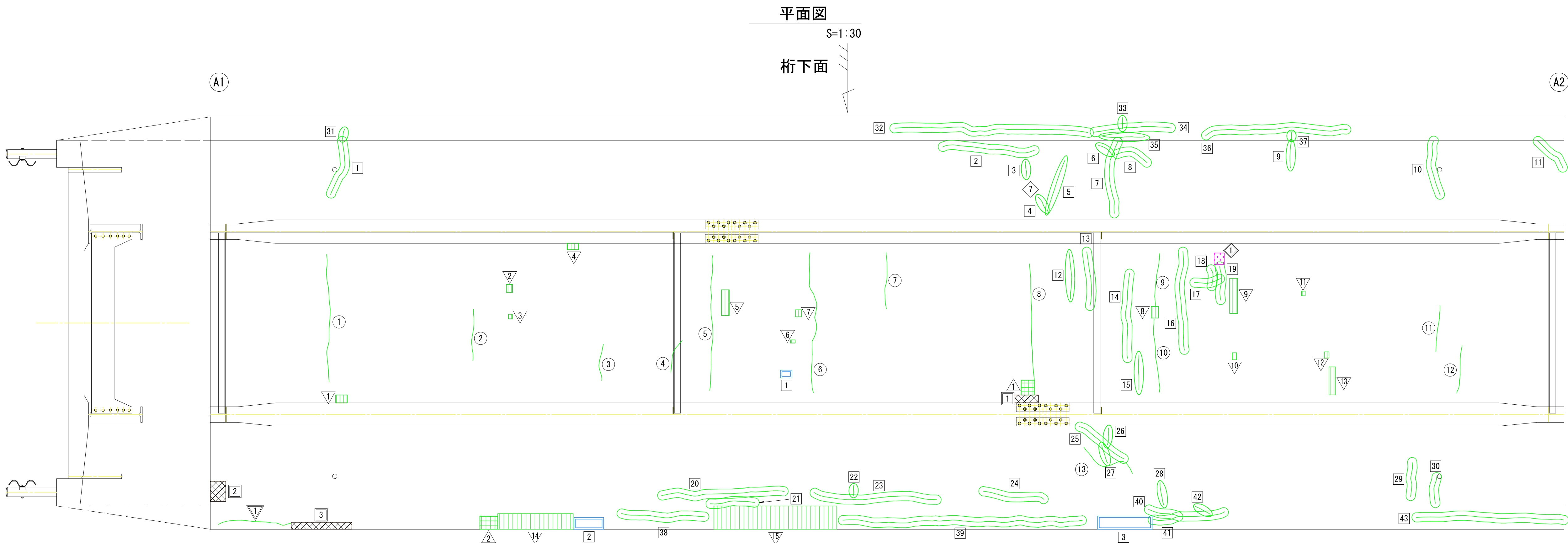
注記)

- ・現況地形は道路台帳を基に作成している。
- ・既設橋の形状は現地調査に基づき作成している。

いの町			
工 事 名	令和6年度 町道瓶ヶ森線 6道メ工第83号 上瀬戸橋2号橋梁補修工事	縮 尺	図 示
図面名称	既設橋一般図		
路線河川名	町道瓶ヶ森線(上瀬戸橋2号)		
工事箇所	高知県 吾川郡いの町 中野川		
設計種別	いの町本川総合支所 産業建設課	図 面 番 号	2 13
事務所名			
会社名			

コンクリート補修工詳細図(その1)

上瀬戸橋2号(町道瓶ヶ森線)



損傷数量表

○ 〰 損傷 : ひびわれ (W=0.2~1.0mm未満)
対策工: ひびわれ注入工

番号	W (mm)	L (mm)
1	0.20	1650
2	0.20	670
3	0.20	480
4	0.20	450
5	0.20	1740
6	0.20	1840
7	0.20	730
8	0.20	1500
9	0.20	680
10	0.20	950
11	0.20	600
12	0.20	620
13	0.20	830
合計		12740

▽ 〰 損傷 : ひびわれ (W=1.0mm以上)
対策工: ひびわれ充填工

番号	W (mm)	L (mm)
1	1.00	950
合計		950

□ 〰 損傷 : 遊離石灰
対策工: ひびわれ充填工

番号	L (mm)	番号	L (mm)
1	750	23	1600
2	1200	24	800
3	210	25	720
4	200	26	220
5	700	27	250
6	220	28	300
7	950	29	440
8	450	30	350
9	360	31	150
10	720	32	2500
11	500	33	150
12	600	34	1000
13	700	35	550
14	1100	36	1850
15	450	37	100
16	1280	38	1080
17	350	39	3100
18	230	40	1000
19	440	41	350
20	1590	42	220
21	580	43	1900
22	140	合計	32350

□ 〰 損傷 : 剥離
対策工: 断面修復工

番号	W (mm)	L (mm)	面積 (m2)
1	100	150	0.015
2	380	150	0.057
3	700	170	0.119
合計			0.19

▽ 〰 損傷 : 鉄筋露出
対策工: 断面修復工

番号	W (mm)	L (mm)	面積 (m2)
1	150	100	0.015
2	80	100	0.008
3	60	50	0.003
4	80	150	0.012
5	100	330	0.033
6	60	40	0.002
7	80	90	0.007
8	90	150	0.014
9	100	450	0.045
10	60	90	0.005
11	50	60	0.003
12	60	80	0.005
13	80	360	0.029
14	970	200	0.194
15	1580	300	0.474
合計			0.85

△ 〰 損傷 : うき
対策工: 断面修復工

番号	W (mm)	L (mm)	面積 (m2)
1	170	190	0.032
2	230	170	0.039
合計			0.07

□ 〰 損傷 : 欠損
対策工: 断面修復工

番号	W (mm)	L (mm)	面積 (m2)
1	300	100	0.030
2	200	260	0.052
3	780	90	0.070
合計			0.15

◇ 〰 損傷 : 豆板
対策工: 断面修復工

番号	W (mm)	L (mm)	面積 (m2)
1	130	150	0.020
合計			0.02

損傷凡例(コンクリート)

記 号	番号	損 傷			補修対象
		状態	有無	作図	
〰	◇	ひびわれ (W<0.2mm)	○		
〰	○	ひびわれ (0.2mm≦W<1.0mm)	○	○	○
〰	▽	ひびわれ (1.0mm≦W)			
〰	□	遊離石灰	○	○	○
〰	△	漏水			
〰	□	剥離	○	○	○
〰	○	鉄筋露出	○	○	○
〰	△	浮き	○	○	○
〰	◇	豆板	○	○	○
〰	□	欠損	○	○	○
〰	▽	洗掘			

・損傷のある場合は「○」を示す。

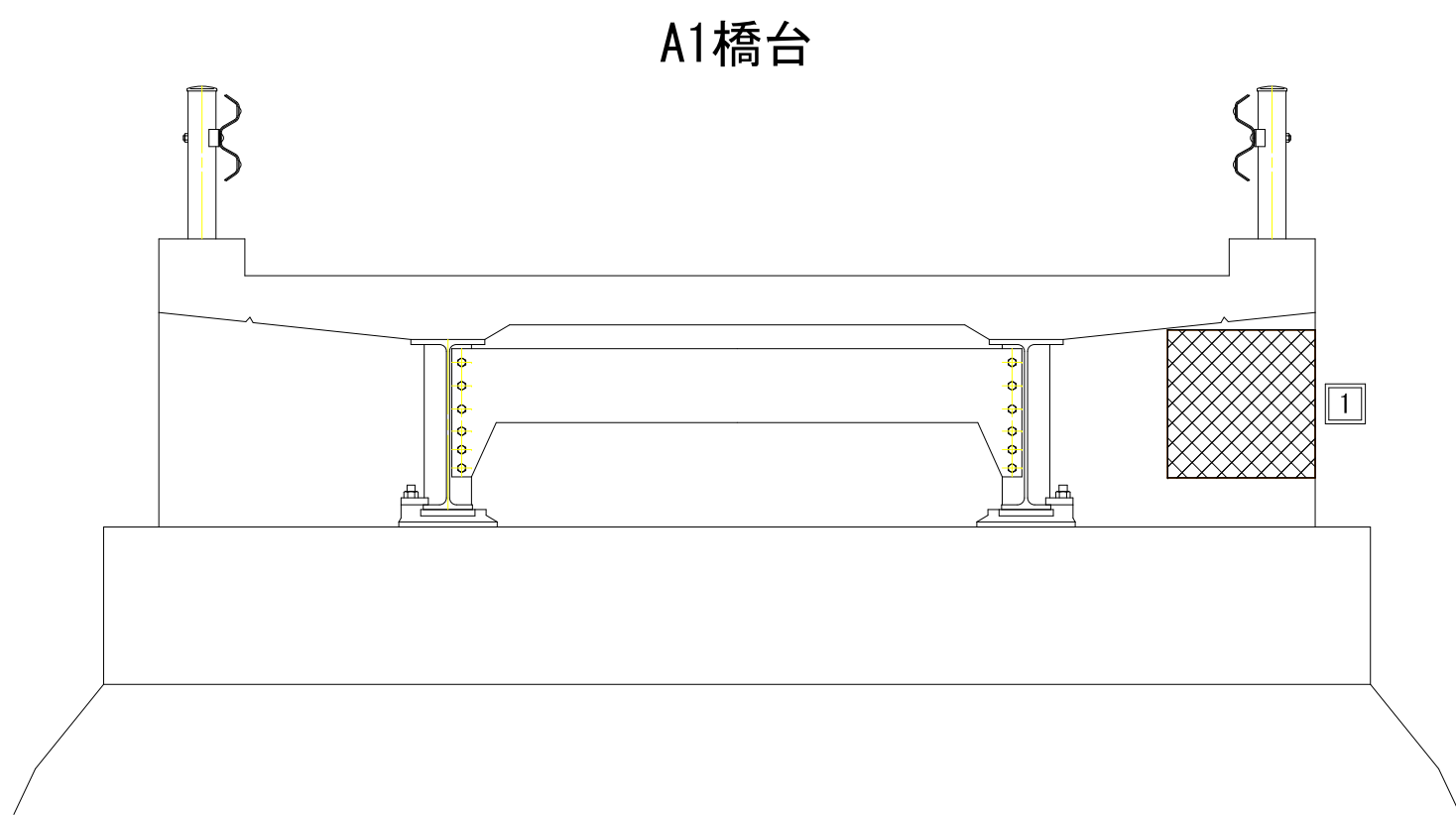
いの町			
工 事 名	6道メ工第83号 令和6年度 町道瓶ヶ森線 上瀬戸橋2号橋梁補修工事		
図面名称	コンクリート補修工詳細図 (その1)	縮 尺	図 示
路線河川名	町道瓶ヶ森線(上瀬戸橋2号)		
工事箇所	高知県 吾川郡 いの町 中野川		
設計種別		図 面 番 号	4
事務所名	いの町本川総合支所 産業建設課		13

コンクリート補修工詳細図(その2)

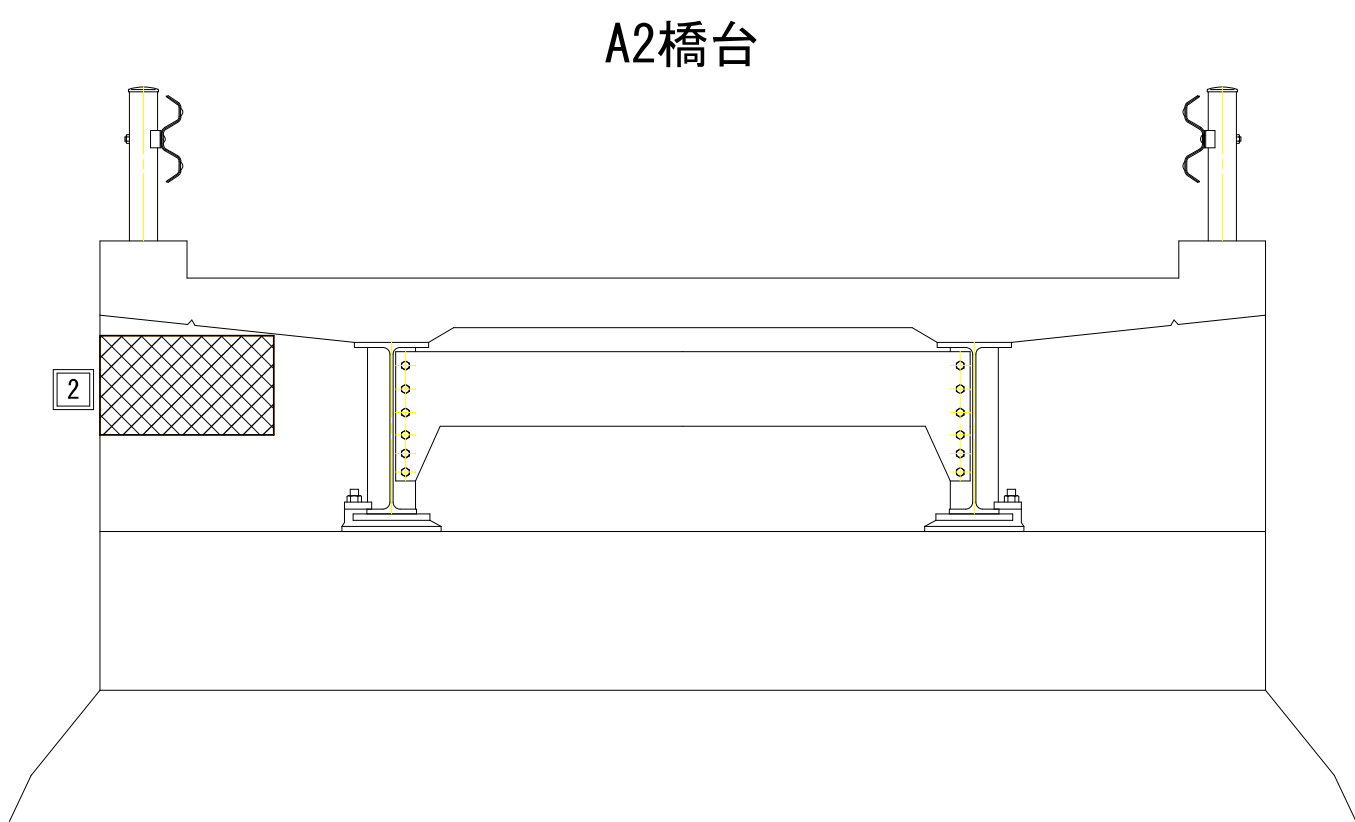
上瀬戸橋2号(町道瓶ヶ森線)

正面図

S=1:30



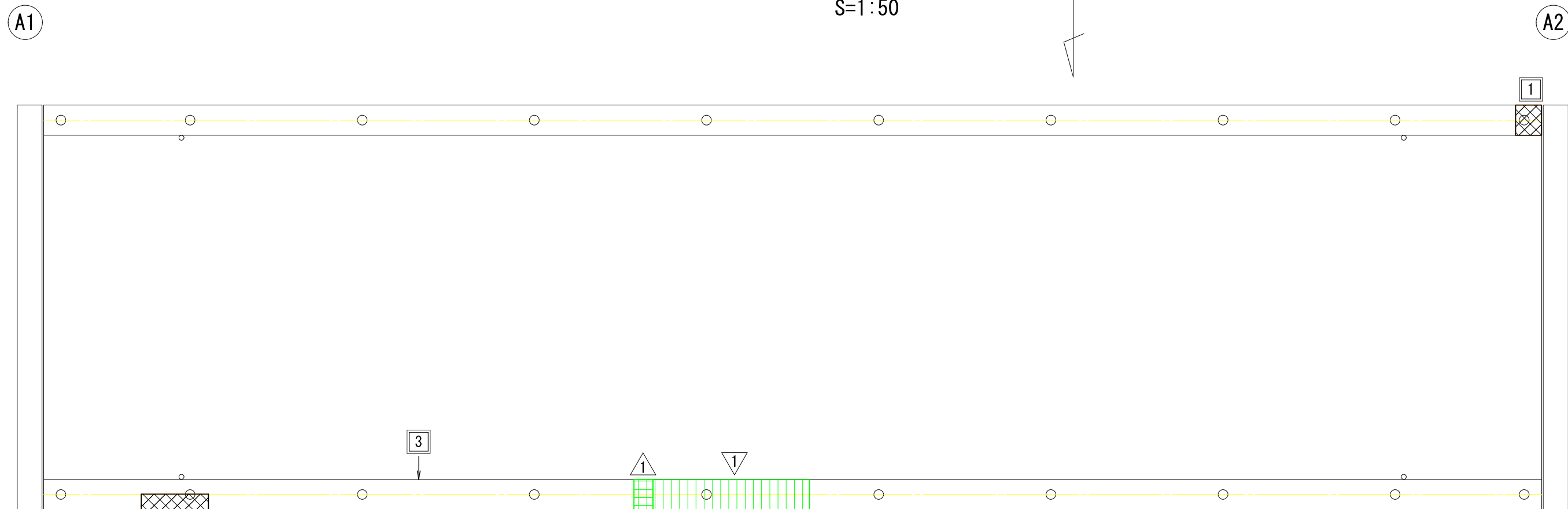
A1橋台



A2橋台

路面

S=1:50



断面修復工(左官工法)

S=1:3

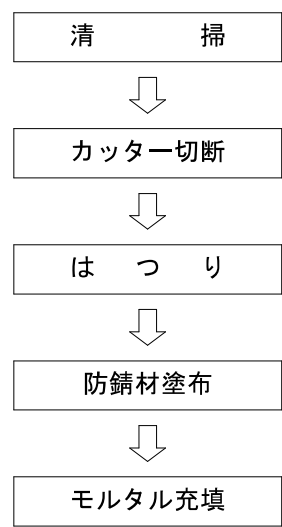
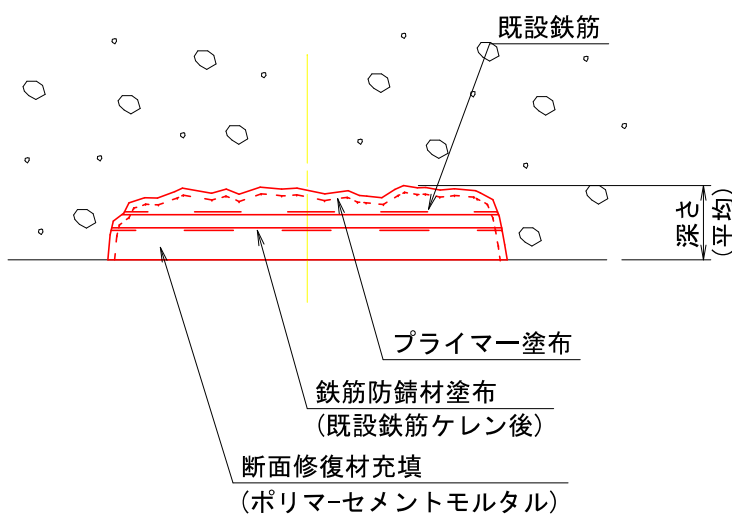
損傷：鉄筋露出、浮き、欠損、剥離

ひびわれ充填工

S=1:5

損傷：ひびわれ幅 W=1.0mm以上、遊離石灰

断面修復工施工フロー



断面修復工(深さt=30mm)

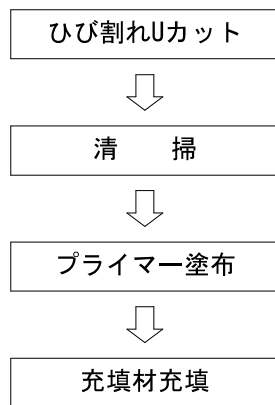
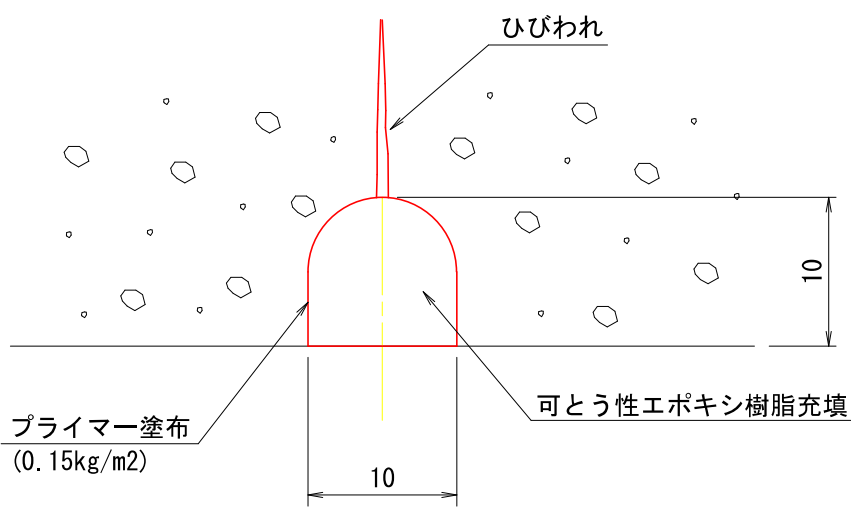
10m2当り

名 称	単位	数 量	備 考
ポリマーセメント系モルタル	m3	0.35	10×0.030×1.18
コンクリート(18-8-25(20))	m3	0.35	10×0.030×1.18

注記)

- ・上表は、深さ30mmの数量を示す。
- ・断面修復工の深さは鉄筋探査の結果より設定している。
- ・橋面及び下部工の充填材はコンクリートを使用する。
- ・施工の際には、現地実測の上で数量を確定すること。

ひび割れ充填工施工フロー



ひび割れ充填工(可とう性エポキシ樹脂)

100m当り

名 称	規 格	単位	数 量	備 考
プライマー	エポキシ樹脂系	kg	0.5	0.010×3×100×0.15×1.20
充填材	可とう性エポキシ樹脂	kg	15.6	0.010×0.010×100×1300×1.20

注記)

- ・上表は、幅10mm深さ10mmの数量を示す。
- ・施工の際には、現地実測の上で数量を確定すること。

損傷数量表

橋 台



損傷：欠損(A1)

対策工：断面修復工

番号	W(mm)	L(mm)	H(mm)	体積(m3)
1	600	600	150	0.054
合計				0.05



損傷：欠損(A2)

対策工：断面修復工

番号	W(mm)	L(mm)	面積(m2)
2	700	400	0.280
合計			0.28

地 覆



損傷：うき

対策工：断面修復工

番号	W(mm)	L(mm)	面積(m2)
1	220	350	0.077
合計			0.08



損傷：欠損(上流)

対策工：断面修復工

番号	W(mm)	L(mm)	H(mm)	体積(m3)
1	300	350	140	0.015
合計				0.02



損傷：欠損(下流)

対策工：断面修復工

番号	W(mm)	L(mm)	面積(m2)
2	780	180	0.140
3	550	120	0.066
合計			0.21



損傷：鉄筋露出

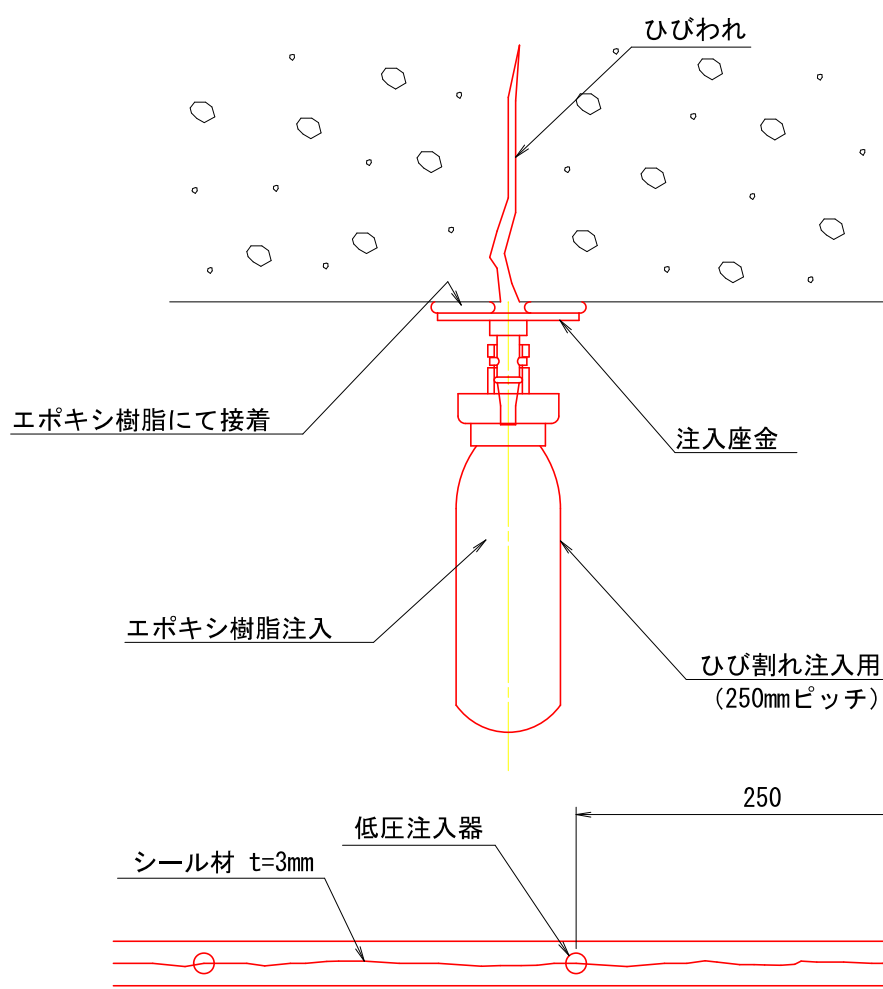
対策工：断面修復工

番号	W(mm)	L(mm)	H(mm)	体積(m3)
1	1820	350	140	0.089
合計				0.09

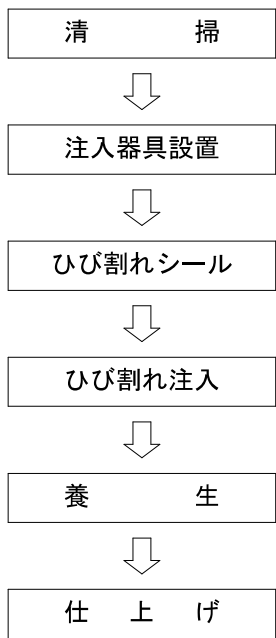
ひびわれ注入工

S=1:5

損傷：ひびわれ幅 W=0.2mm以上1.0mm未満



ひび割れ注入工施工フロー



ひび割れ注入工(エポキシ樹脂低圧注入)

100m当り

名 称	規 格	単位	数 量	備 考
低圧注入器	25cm間隔(低圧注入)	個	400	4本×100m
シール材	ポリエステル系	kg	21.0	0.003×0.03×100×1700×1.37
注入材	エポキシ樹脂	kg	1.3	0.0002×0.05×100×1150×1.15

注記)

- ・上表は、幅0.2mm深さ50mmの数量を示す。
- ・施工の際には、現地実測の上で数量を確定すること。
- ・幅0.2mm未満のひび割れは、鋼材腐食による耐久性の低下が小さいと判断できるため、未補修で存置させる。

注記)

- ・地覆、橋台部の損傷は通常コンクリートにより断面修復を行う。

いの町

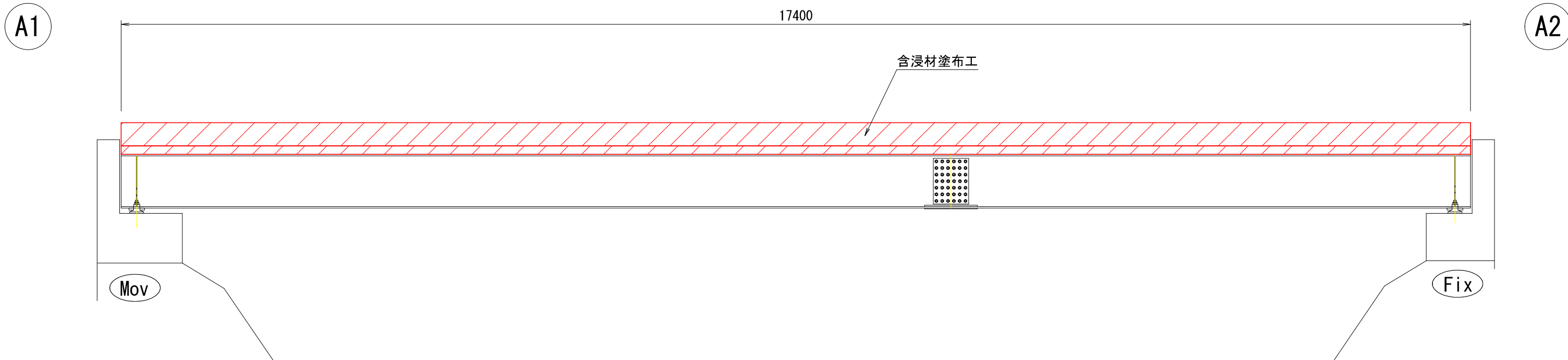
工 事 名	令和6年度 町道瓶ヶ森線 上瀬戸橋2号橋梁補修工事
図面名称	コンクリート補修工詳細図 (その2) 縮 尺 図 示
路線河川名	町道瓶ヶ森線(上瀬戸橋2号)
工事箇所	高知県 吾川郡 いの町 中野川
設計種別	
事務所名	いの町本川総合支所 産業建設課
図 面 番 号	5 13

表面含浸工詳細図

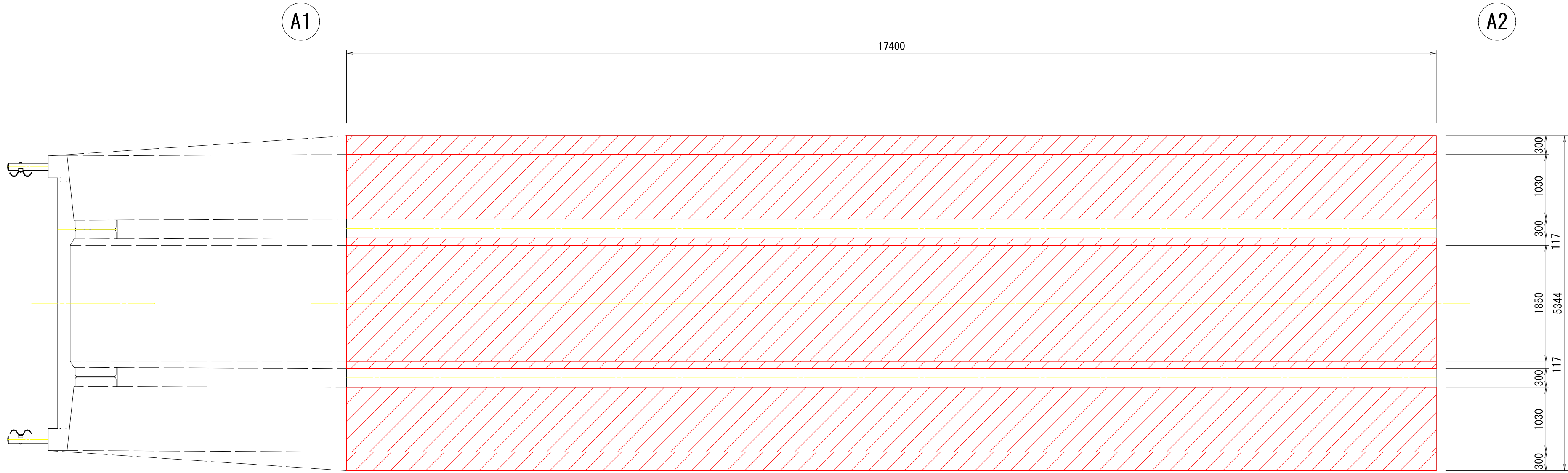
上瀬戸橋2号(町道瓶ヶ森線)

S=1:50

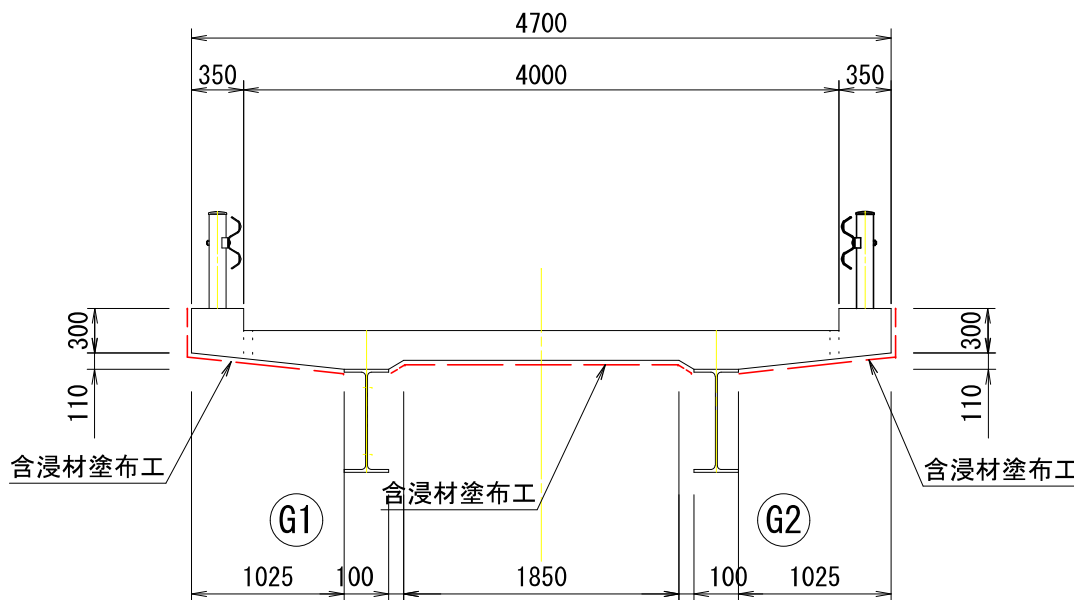
上部工側面図



上部工平面図

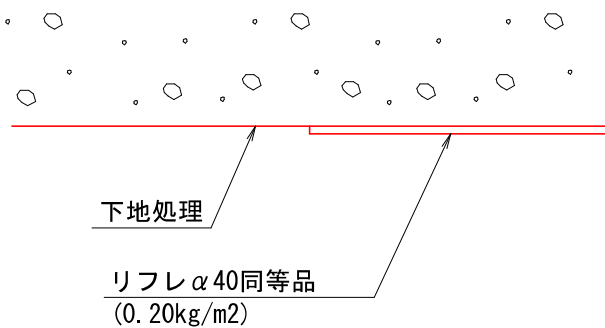


上部工断面図

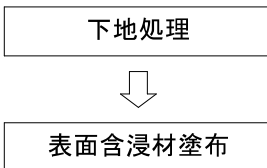


含浸材塗布工

塩害対策



含浸材塗布工工フロー



損傷 : 塩害
対策工 : 含浸材塗布工

上瀬戸橋2号

表面含浸工塗布量参考値 (リフレα)

部材名	鉄筋	鉄筋径 (mm)	かぶり		塩素量 (試験値) (kg/m3)	モル比 濃度 (%)	計算 係数	塗布量		備考
			縁端 (cm)	中心 (cm)				計算値 (kg/m2)	設計値 (kg/m2)	
RC床版	主鉄筋	φ19	4.0	5.0	1.07	1:1	0.0373	0.198	α40	
	配力筋	φ13	5.9	6.6	0.81	40%	0.0373	0.198	0.20	

- 塗布量計算値＝中心かぶり×塩素量×計算係数
- 鉄筋径と縁端かぶりは調査に基づく推定値、塩素量は試験値を示す。

係数一覧

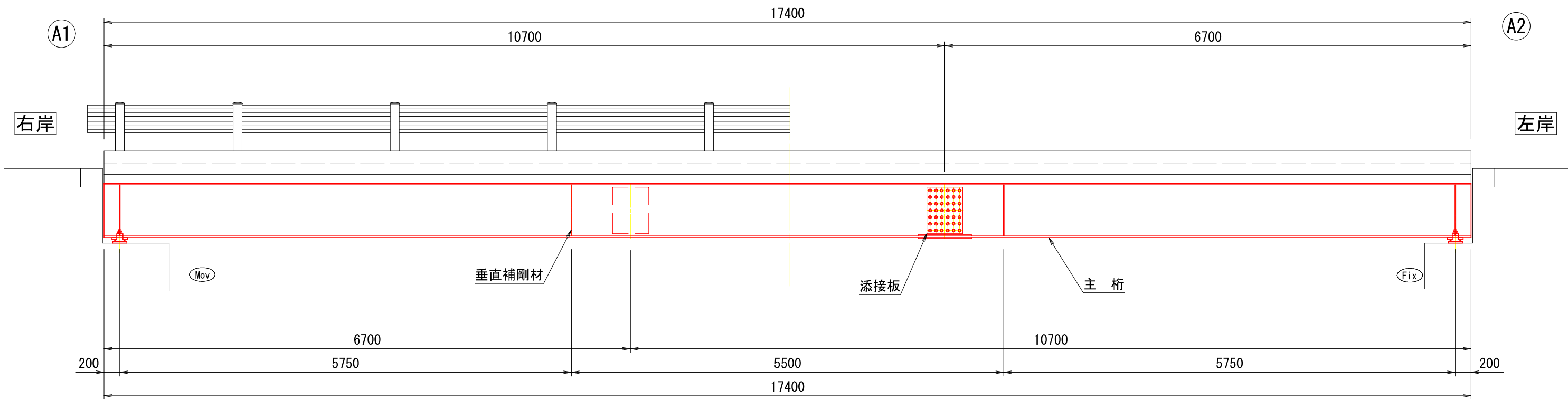
モル比	濃度 (%)	係数
0.6	25	0.0358
0.6	40	0.0224
1	25	0.0596
1	40	0.0373

いの町			
工 事 名	令和6年度 町道瓶ヶ森線 上瀬戸橋2号橋梁補修工事	縮 尺	S=1:50
図面名称	表面含浸工詳細図	縮 尺	S=1:50
路線河川名	町道瓶ヶ森線(上瀬戸橋2号)		
工事箇所	高知県 吾川郡 いの町 中野川		
設計種別			
事務所名	いの町本川総合支所 産業建設課	図 面 番 号	6 13

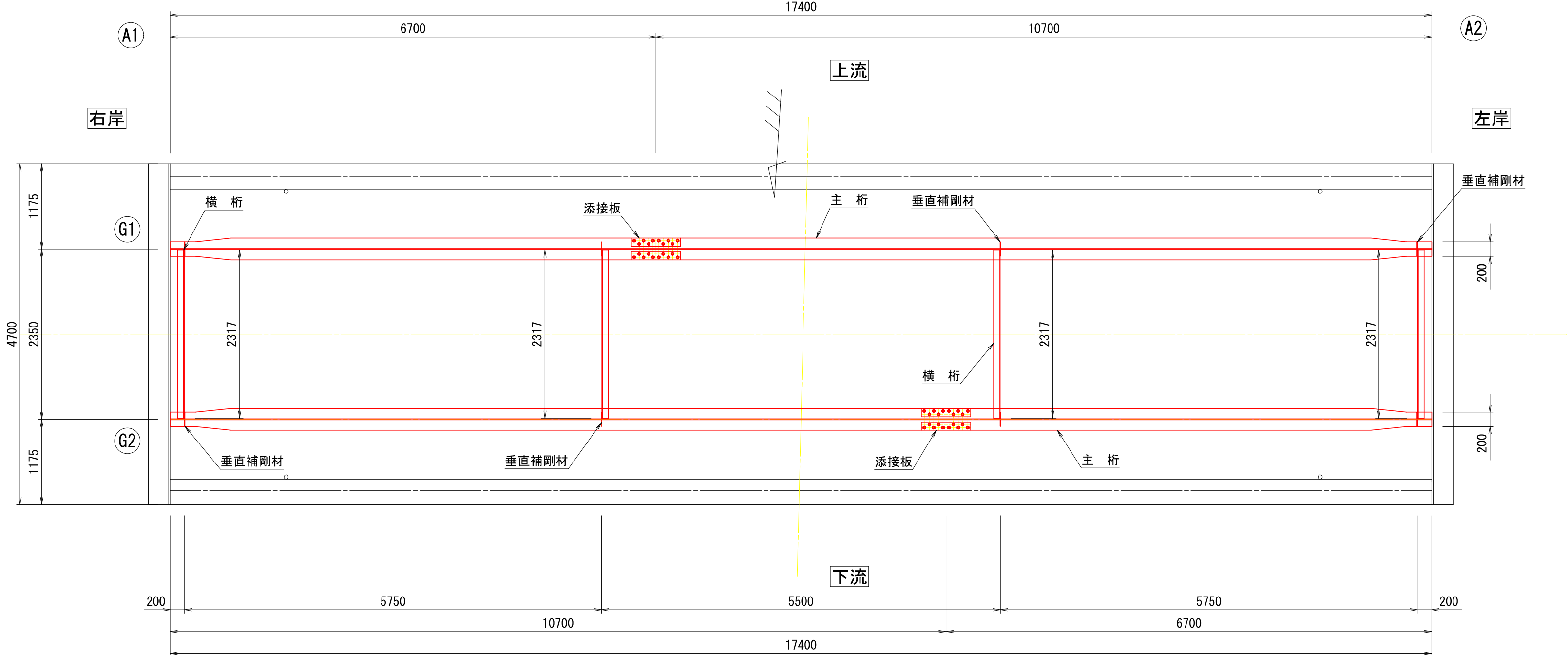
塗替え塗装工詳細図(その1)

上瀬戸橋2号(町道瓶ヶ森線)

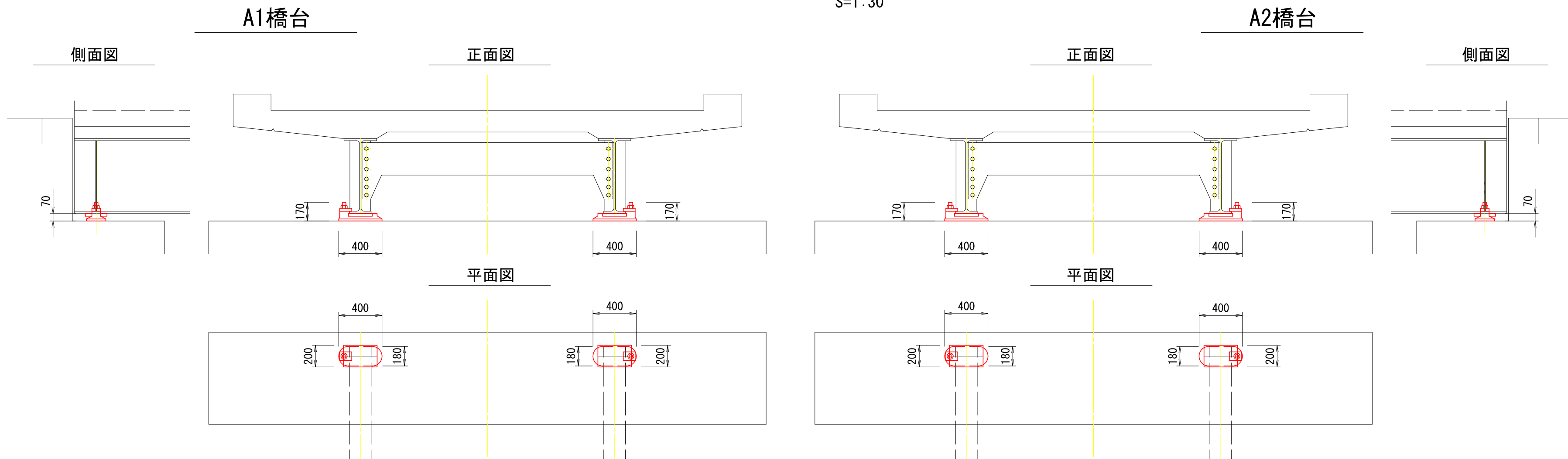
側面図
S=1:50



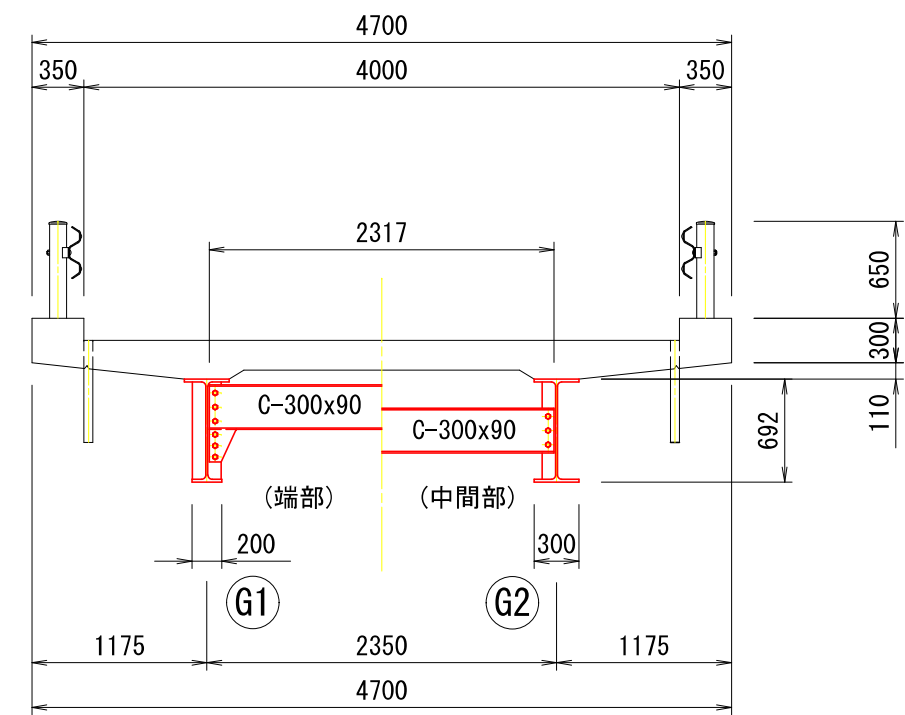
平面図
S=1:50



支承塗装範囲図
S=1:30



上部工断面図
S=1:50



塗装仕様
(Rc-I塗装系)

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m2)
素地調整	湿式塗膜剥離剤、1種ケレン	
下塗	有機ジンクリッチペイント	600
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140

注記)
・ は塗装範囲を示す。

注記)
・ 施工前に現地調査を実施し、補修箇所や形状などを確認すること。
・ 主部材や副部材の主たる数量を計上しており、現地計測に応じて適宜変更すること。
・ 支承は複雑な形状をしていることから、平面積により数量を算出する。現地計測に応じて適宜変更すること。
・ 現場塗装のため、塗装工は「Rc-I塗装系」とする。
・ 有害物含有試験の結果、鉛の含有が確認されたため、既設の塗膜材料は適切に処理すること。

いの町				
工 事 名	令和6年度 町道瓶ヶ森線 上瀬戸橋2号橋梁補修工事			
	6連メ工第83号			
図 面 名 称	塗替え塗装工詳細図 (その1)	縮 尺	図 示	
路線河川名	町道瓶ヶ森線(上瀬戸橋2号)			
工 事 箇 所	高知県 吾川郡いの町 中野川			
設 計 種 別			図 面 番 号	7 13
事 務 所 名	いの町本川総合支所 産業建設課			

塗替え塗装工詳細図（その2）

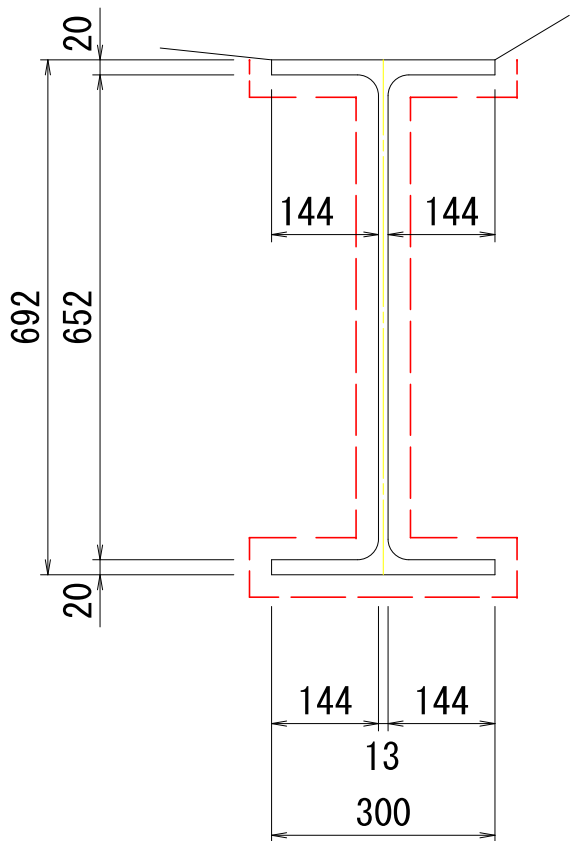
上瀬戸橋2号(町道瓶ヶ森線)

塗装範囲図

主 桁

S=1:10

鋼材長：L1=6.70m
L2=10.70m
角 部：6箇所



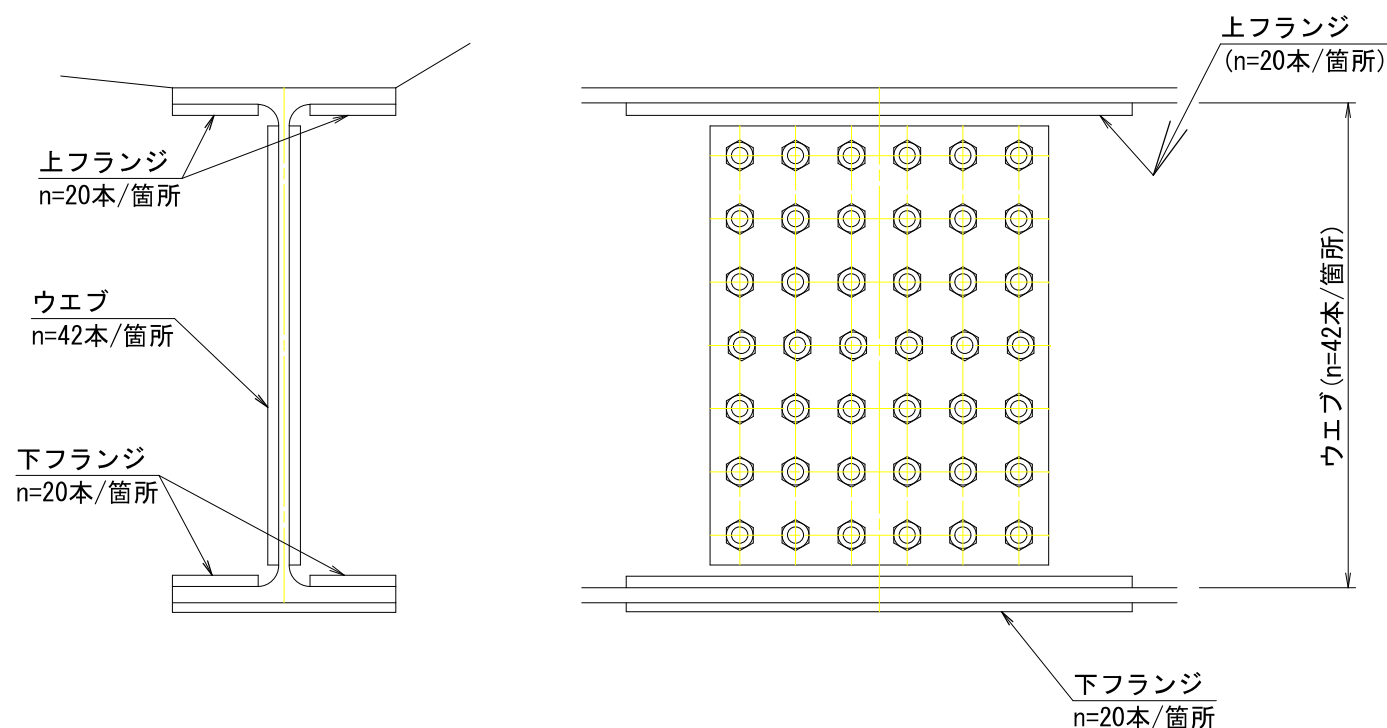
主桁添接部のボルト

S=1:10

ボルト数：n=82本/箇所

正面図

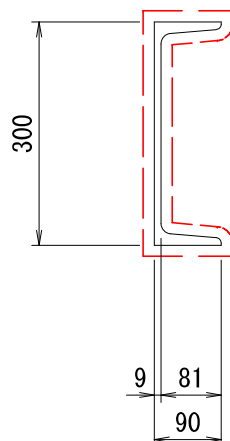
側面図



横 桁

角部：4箇所

鋼材長 L=2.32m

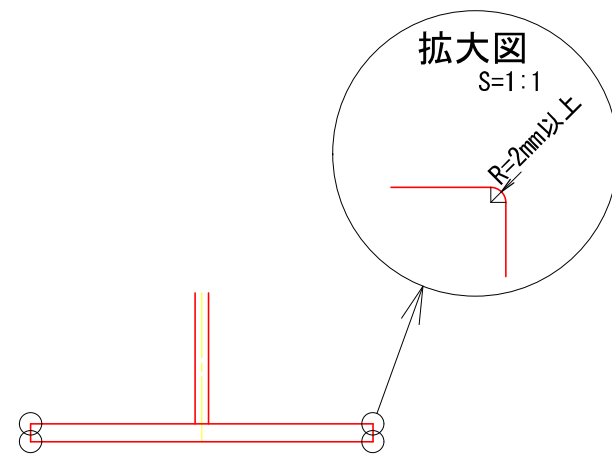


角部処理

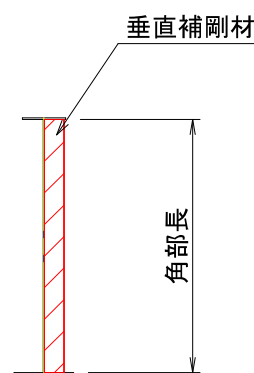
詳 細 図

S=1:5

○：角部処理



垂直補剛材の角部長



注記)
・既設橋の鋼材に面取り等の角部処理が行われていない場合は、塗替え塗装前にR=2mm以上の面取りを行う。

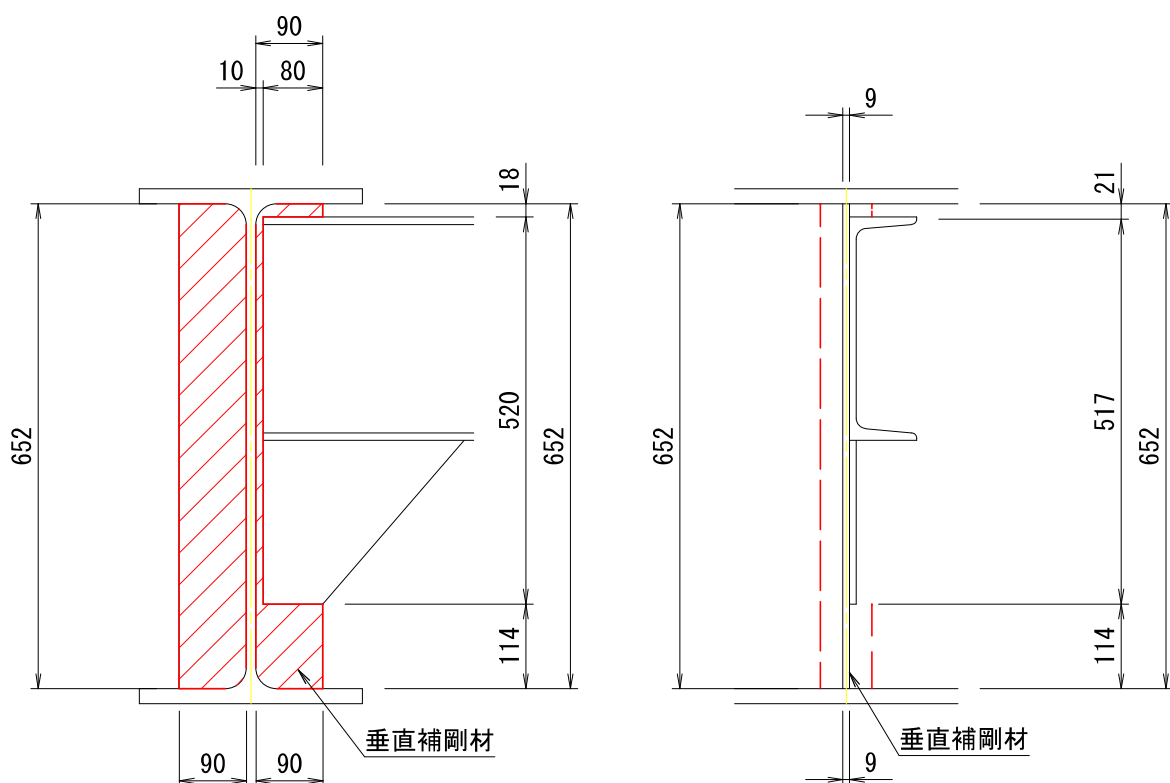
垂直補剛材(端部)

S=1:10

鋼材長：L=0.65m
角 部：2箇所

正面図

側面図



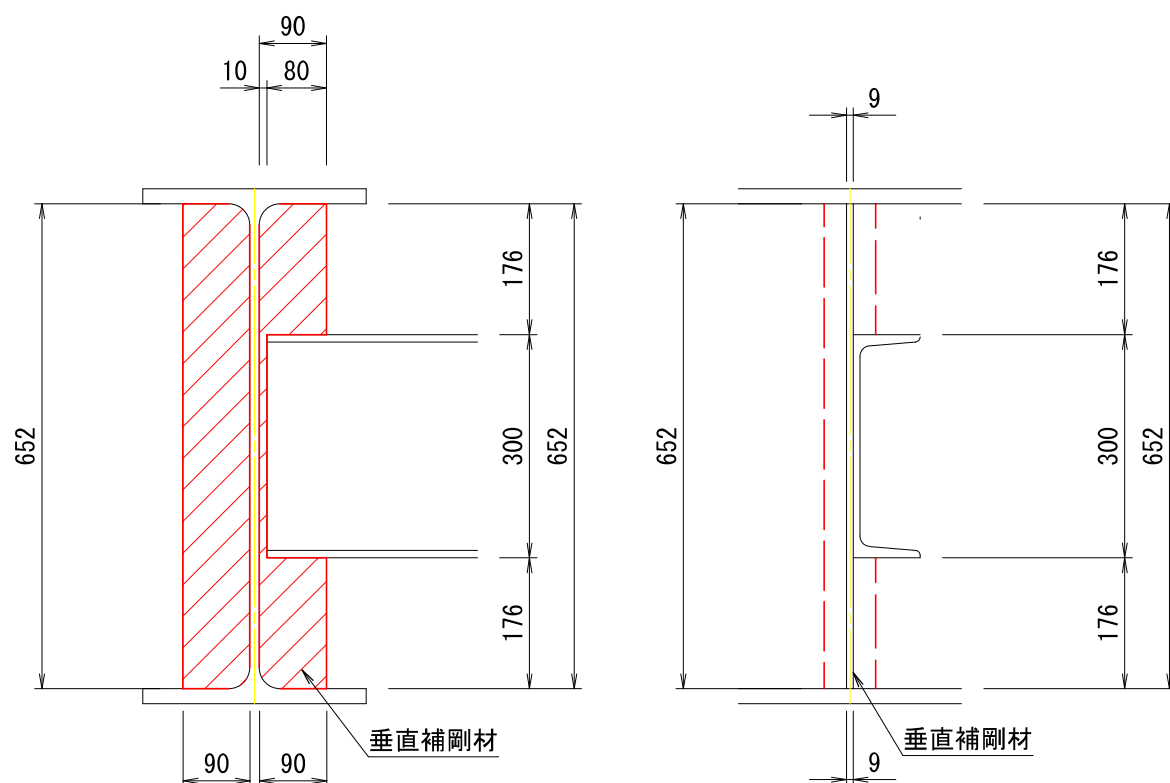
垂直補剛材(中間)

S=1:10

鋼材長：L=0.65m
角 部：2箇所

正面図

側面図



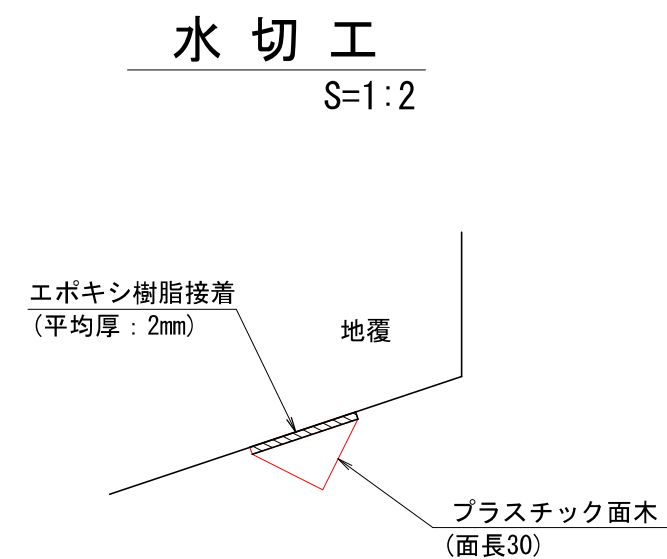
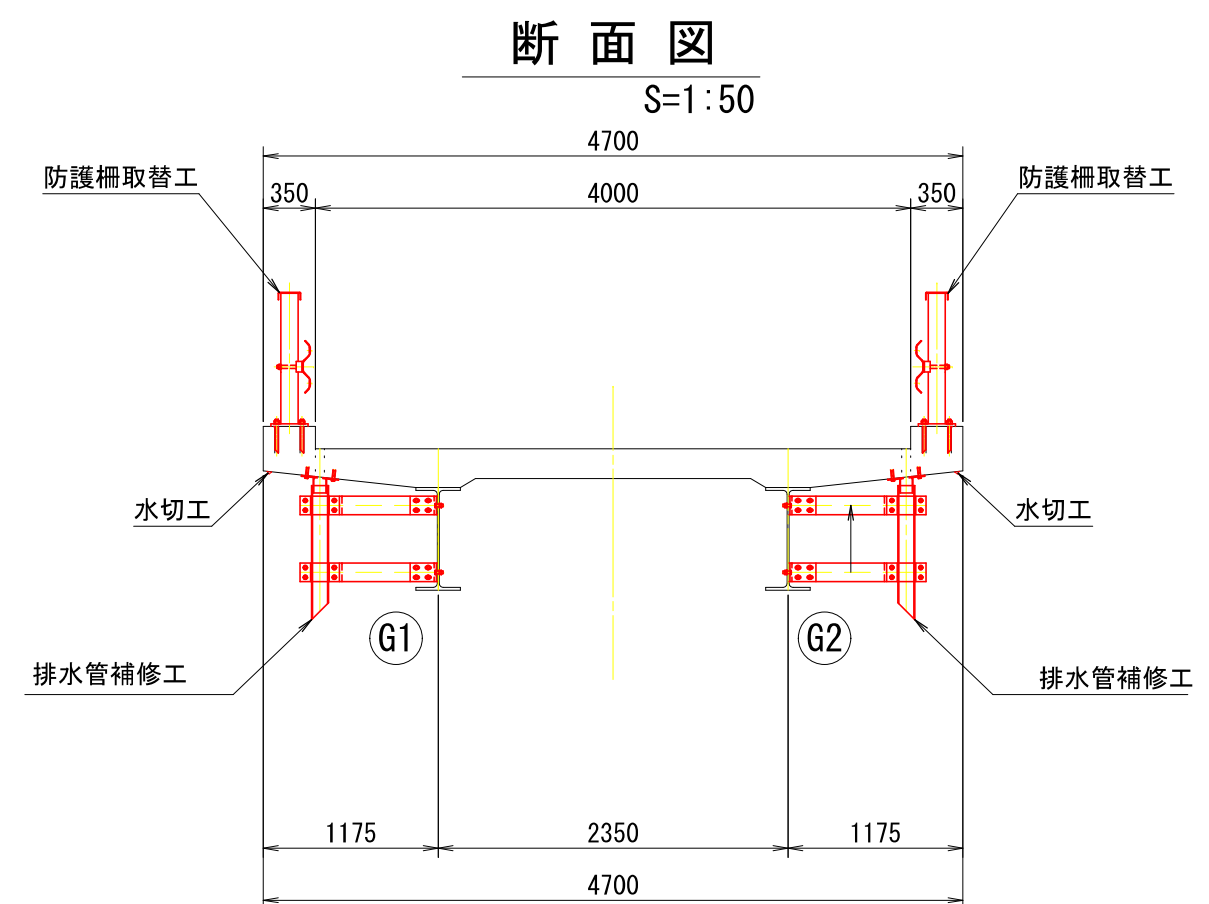
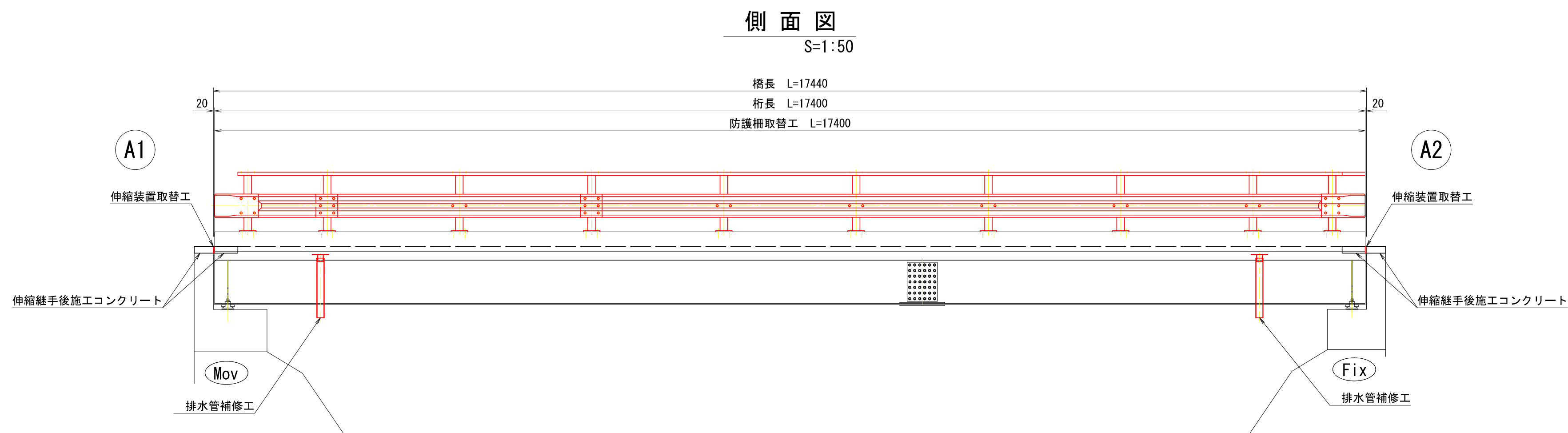
注記)
・ は塗装範囲を示す。

注記)
・ 施工前に現地調査を実施し、補修箇所や形状などを確認すること。
・ 主部材や副部材の主たる数量を計上しており、現地計測に応じて適宜変更すること。
・ 支承は複雑な形状をしていることから、平面積により数量を算出する。現地計測に応じて適宜変更すること。
・ 現場塗装のため、塗装工は「Rc-I塗装系」とする。
・ 有害物含有試験の結果、鉛の含有が確認されたため、既設の塗膜材料は適切に処理すること。

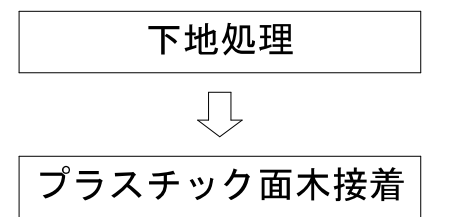
いの町				
工 事 名	6道メ工第83号 令和6年度 町道瓶ヶ森線 上瀬戸橋2号橋梁補修工事			
図 面 名 称	塗替え塗装工詳細図 (その2)	縮 尺	図 示	
路線河川名	町道瓶ヶ森線(上瀬戸橋2号)			
工 事 箇 所	高知県 吾川郡いの町 中野川			
設 計 種 別				
事 務 所 名	いの町本川総合支所 産業建設課	図 面 番 号	8 / 13	

橋面補修工詳細図(その1)

上瀬戸橋2号(町道瓶ヶ森線)



水切工施工フロー



注記)

- ・本図ではプラスチック面木としている。
- ・使用形式については、アングル形式等も含めて施工時に確認すること。

いの町				
工 事 名		令和6年度 町道瓶ヶ森線 上瀬戸橋2号橋梁補修工事		
図 面 名 称		橋面補修工詳細図 (その1)	縮 尺	図 示
路線河川名		町道瓶ヶ森線(上瀬戸橋2号)		
工 事 箇 所		高知県 吾川郡いの町 中野川		
設 計 種 別			図 面 番 号	9
事 務 所 名		いの町本川総合支所 産業建設課		13

上瀬戸橋2号(町道瓶ヶ森線)

S=1 : 20

1 - VP-100 L=1110

35

105

孔径 $\phi 16 \times 35$

4 - インサート M12x52
(SS相当品, メッキ品)

不陸修正材塗布

105

89

4

4 - Bolt M12x25 (1-W, メッキ品)

SGP 80A L=105

Technical drawing of a mechanical part with dimensions. The part is symmetrical about a vertical centerline. The total width is 200. The top section has a width of 100 and a height of 50. The middle section has a width of 100 and a height of 62.5. The bottom section has a width of 100 and a height of 125.0. The part is shown in a cross-sectional view with a red line indicating a cut. The drawing includes a 4:1 magnification scale and a 6:1 magnification scale.

692

450

100

36

18

795

6175

160

460

90

530

45°

φ114

35

35

70

70

457

200

100

50

50

VP-100 L=900

1110

30

65

30

125

2-B. N M16x50 (1-W. メッキ品, 孔径φ18)

2-B. N M16x35 (1-W. メッキ品, 孔径φ18)

2-B. N M16x45 (1-W. メッキ品, 孔径φ18)

4-B. N M16x40 (2-W. メッキ品, 孔径φ18x36長孔)

1. 排水管支持金具は、すべて溶融亜鉛メッキ (HDZ55) を施すこと。
また、ボルト等はメッキ品を使用のこと。
2. 施工に際しては、現地実測の上、工場製作及び取付のこと。
3. 排水管支持金具等の鋼材は溶融亜鉛メッキ (HDZ55) を施すこと。
また、ボルト等はメッキ品を使用のこと。

S=1:5

[illegible]

Technical drawing of a bridge deck cross-section showing reinforcement details. The drawing includes dimensions in mm and labels for various components.

Labels:

- 超速硬コンクリート (Ultra-rapid hard concrete)
- 弾性シール材 (Elastic sealant)
- 型枠材 (Formwork material)
- 現場接合 (Field joint)
- ガイド板 (Guide plate)
- 通し筋 D16 SD345 (Through reinforcement D16 SD345)
- コンクリートアンカー D16用 ctc250 (Concrete anchor D16 use ctc250)
- 橋台側 (Abutment side)
- 桁側 (Truss side)

Dimensions (mm):

- Overall width: 220
- Overall height: 250
- Deck thickness: 90
- Internal offsets (from left): 51, 25, 20, 5
- Internal offsets (from right): 150, 80, 20, 150, 350
- Internal offsets (from center): 150, 80, 20, 150
- Central channel width: 76~96
- Bottom width: 280

S=1 : 50

S=1:50

Figure 1 is a schematic diagram of the test specimen. It shows a rectangular specimen with a total width of 4000 mm and a total height of 350 mm. The specimen is divided into four sections: a central section of 1500 mm and three side sections of 500 mm each. The specimen is made of a material with a 90° 0' angle. The specimen is labeled 'シール材' (Sealing material) at the top and bottom edges.

S=1:3

Figure 1 is a cross-sectional diagram of a repair method for a concrete structure. It shows a vertical section of a concrete wall. A horizontal reinforcement bar is embedded in the wall. On the left side, a repair material (バックアップ材) is applied, with a dimension of 20 units indicated. On the right side, a sealant (シーリング材) is applied, also with a dimension of 20 units indicated. A primer coating (プライマー塗布) is applied to the top surface of the wall. The diagram illustrates the application of repair materials and sealant to a concrete structure.

S=1 : 100

Technical drawing of a bridge deck cross-section. The drawing shows a rectangular deck with a width of 20 units. The total length of the bridge is L=17440, and the length of the deck is L=17400. The deck is made of CDx型-30 (CDx-type-30) and is reinforced with CDx型-20 (CDx-type-20). The deck is labeled as 伸縮継手 (CDx型-30用同等品) and 耐グレーダ型 (CDx型-20用同等品). The drawing also shows a yellow dashed line representing the ground level.

名 称	材 質	A 1 数量	A 2 数量	合 計	備 考
伸縮継手 (Cd型-20用同等品)	SS400 合成ゴム SD345 弾性シール材		4.000 m	4.000 m	耐グレーダ型、通し筋を含む
伸縮継手 (Cd型-30用同等品)	SS400 合成ゴム SD345 弾性シール材	4.000 m		4.000 m	耐グレーダ型、通し筋を含む
シール材	シリコン系	0.28 リッター	0.28 リッター	0.56 リッター	地覆部
超速硬コンクリート		0.227 m3	0.227 m3	0.454 m3	
コンクリートアンカー D16用		64 本	64 本	128 本	

注) 伸縮継手長を含む各寸法および数量は現地測量後決定すること。

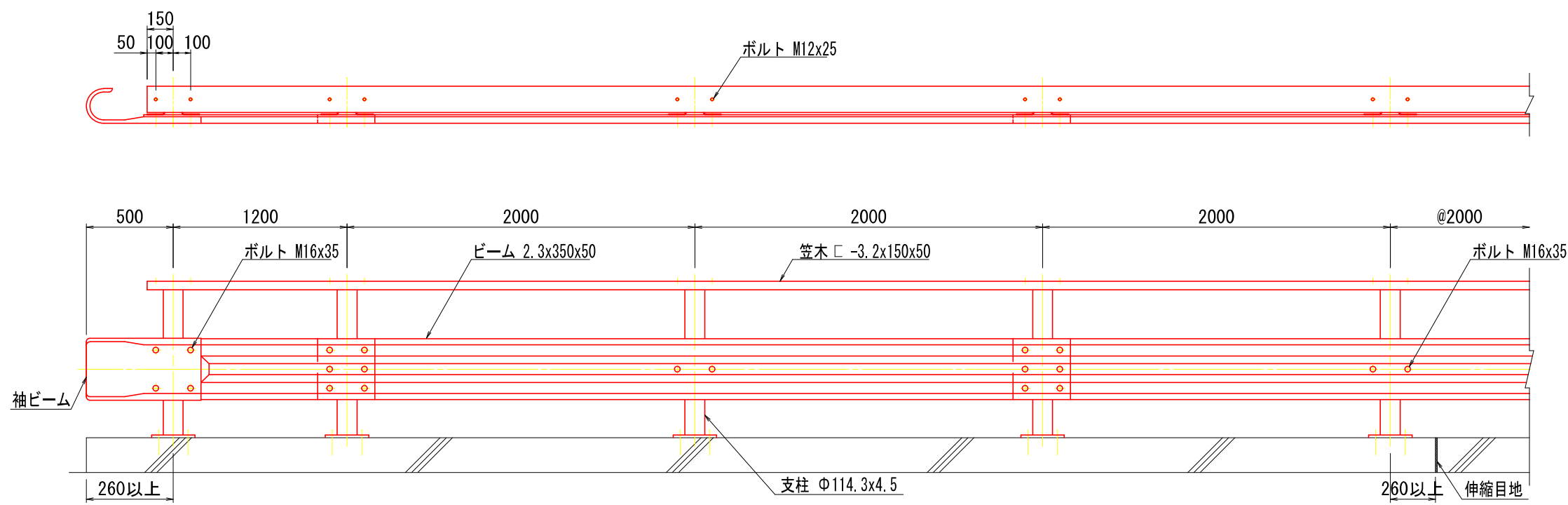
工 事 名	6道メ工第3号	令和6年度	町道瓶ヶ森線 上瀬戸橋2号橋梁補修工事
図 面 名 称	橋面補修工詳細図 (その2)	縮 尺	図 示
路線/河川名	町道瓶ヶ森線(上瀬戸橋2号)		
工 事 箇 所	高知県 吾郡 いろの町 中野川		
設計 種 別			
事 務 所 名	いの町本川総合支所 産業建設課	図 面 番 号	10 13

橋面補修工詳細図(その3)

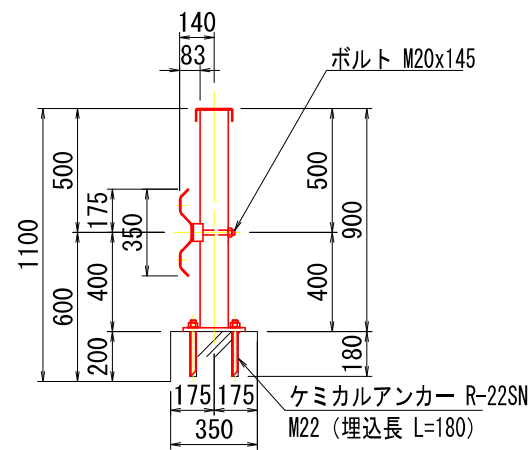
上瀬戸橋2号(町道瓶ヶ森線)

防護柵取替工(参考図)

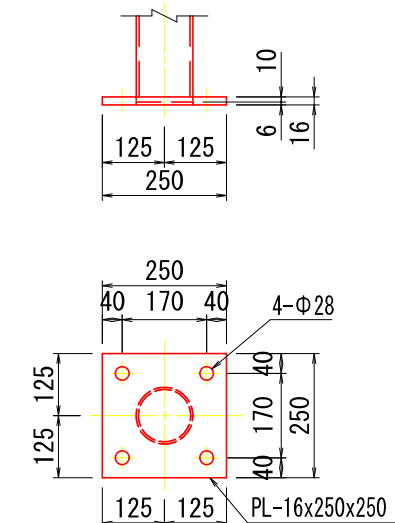
組立図
S=1:30



支柱
S=1:30

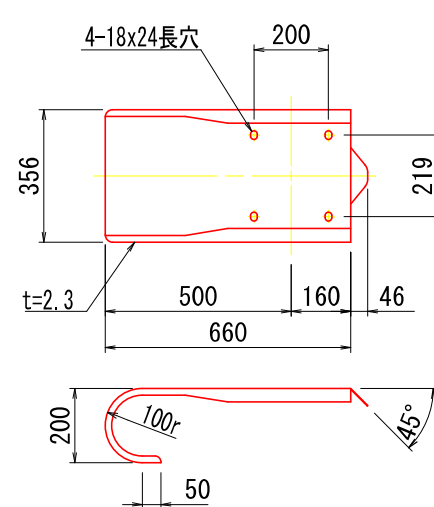


ベースプレート詳細
S=1:15

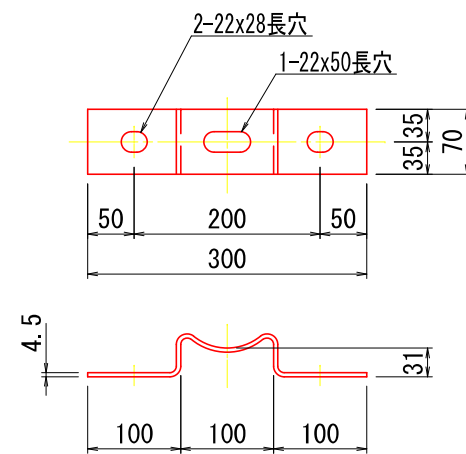


- 注)
1. コンクリートの設計基準強度は 18N/mm²以上のこと
 2. コンクリート端部やコンクリートが分離している
伸縮目地などからは、支柱中心押さえで260mm以上離すこと

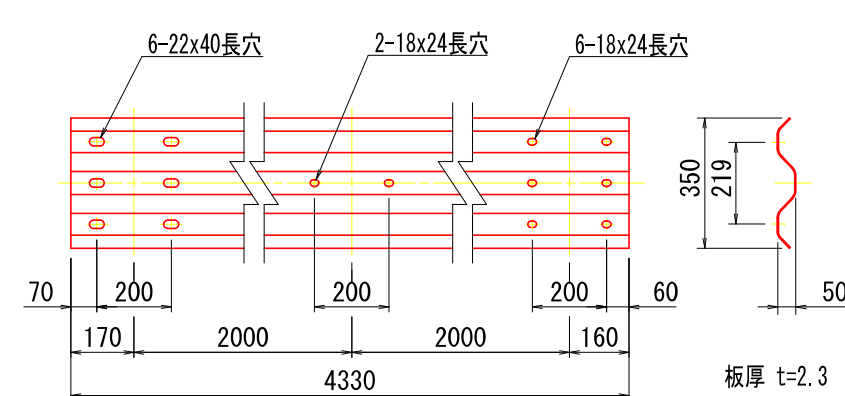
袖ビーム
S=1:20



ブラケット
S=1:8

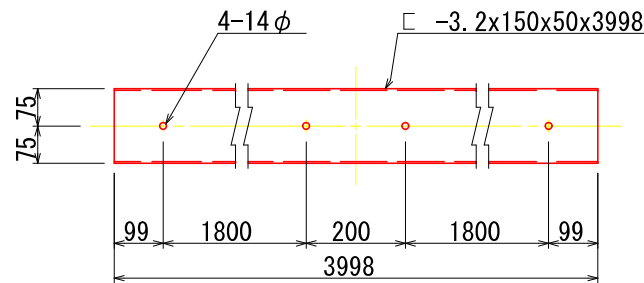


ビーム
S=1:20

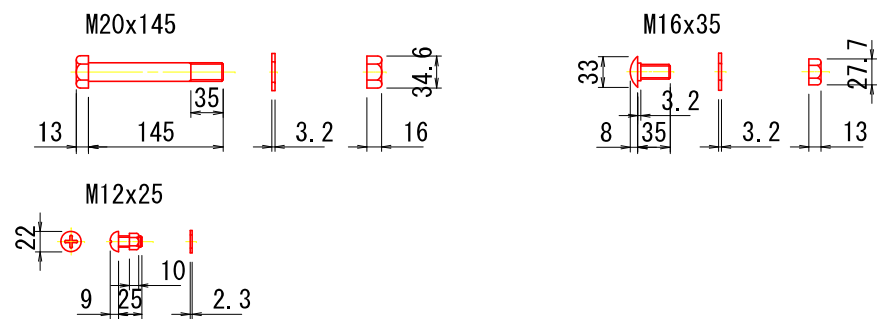


笠木

S=1:15



取付ボルト
S=1:8



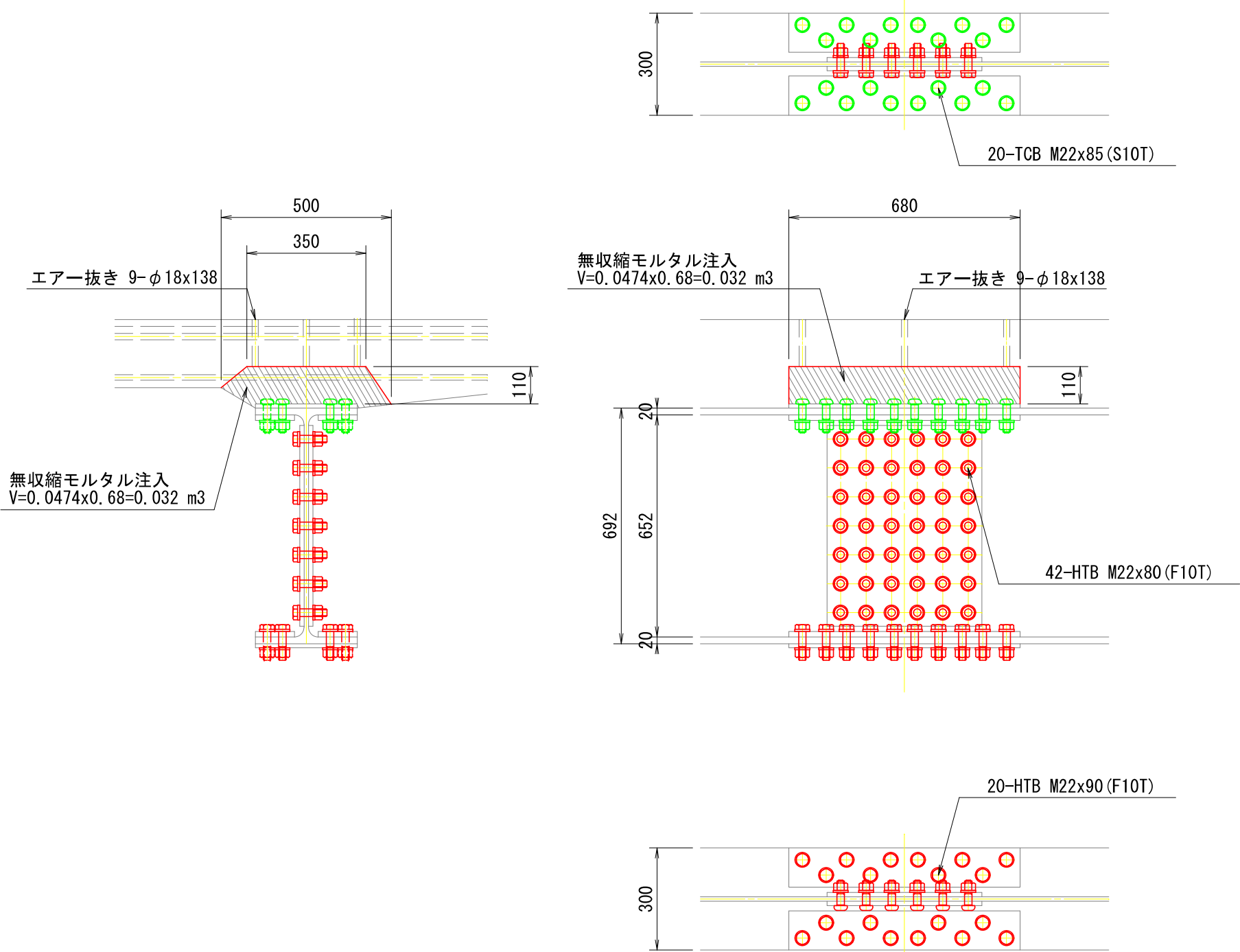
いの町			
工 事 名	令和6年度 町道瓶ヶ森線 上瀬戸橋2号橋梁補修工事		
	橋面補修工詳細図 (その3)	縮 尺	図示
路線河川名	町道瓶ヶ森線(上瀬戸橋2号)		
工事箇所	高知県 吾川郡いの町 中野川		
設計種別	いの町本川総合支所 産業建設課	図 面 番 号	11
事務所名			13

ボルト補修工詳細図

上瀬戸橋2号(町道瓶ヶ森線)

主桁添接部

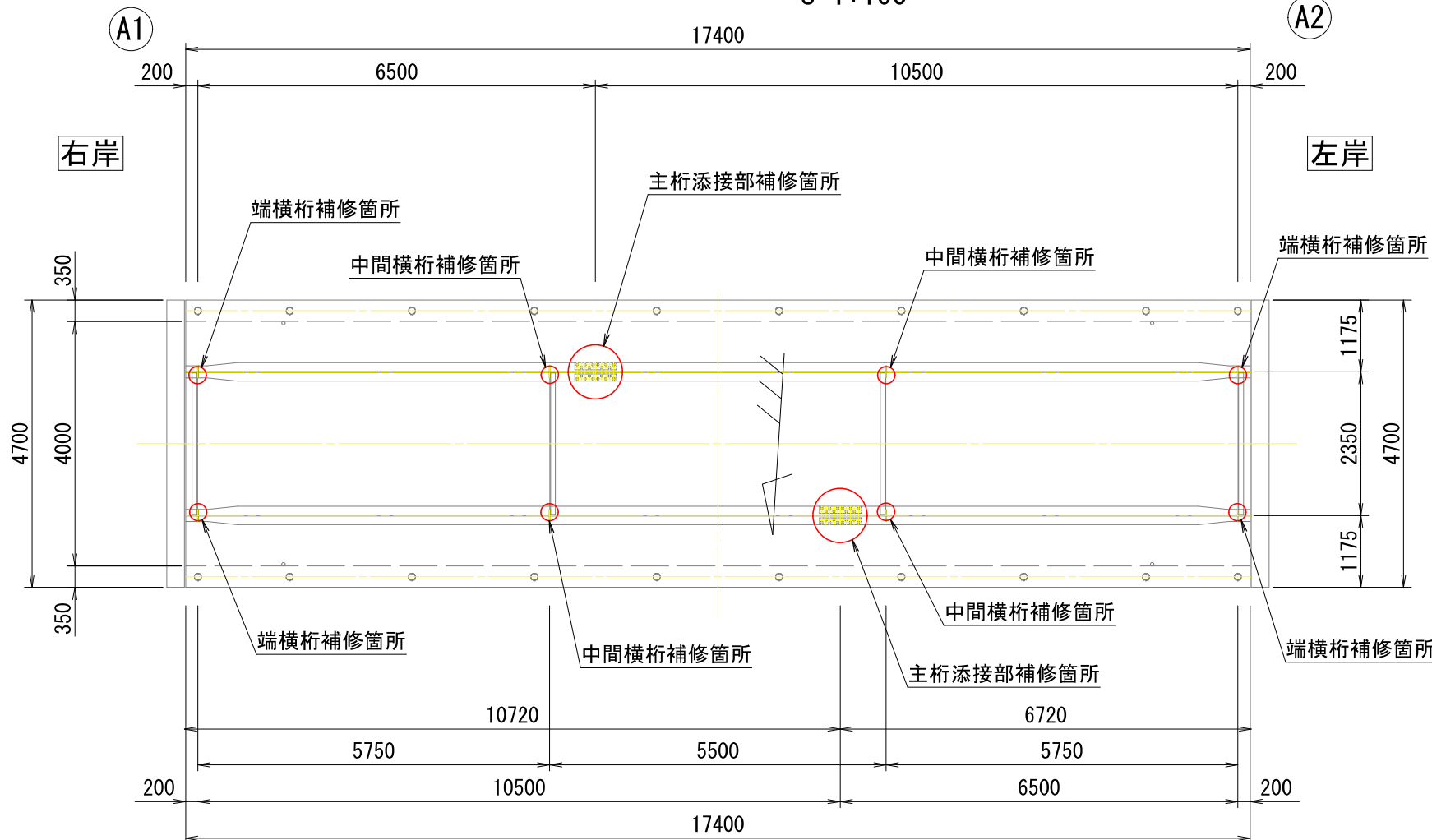
S=1:15



1箇所当りボルト取替数量(取替箇所数:全2箇所)
20 - TCB, M22x85 (S10T) (上フランジ)
42 - HTB, M22x80 (F10T) (ウエブ)
20 - HTB, M22x90 (F10T) (下フランジ)
※下フランジのボルトは耐力点法により締付けを行うこと。

平面図

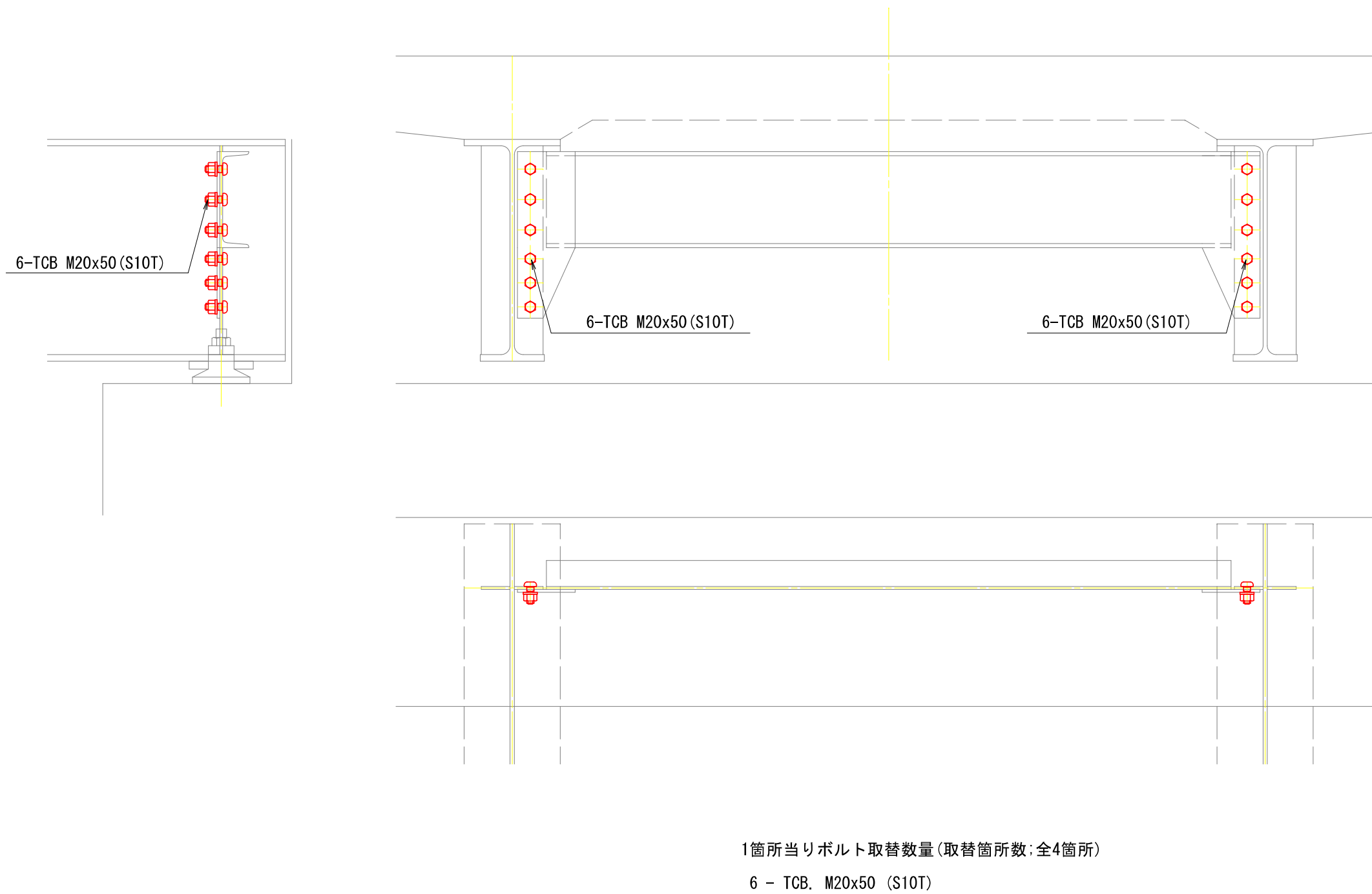
S=1:100



ボルト取替数量
主桁添接部補修箇所 N=4箇所
端横桁補修箇所 N=4箇所
中間横桁補修箇所 N=4箇所

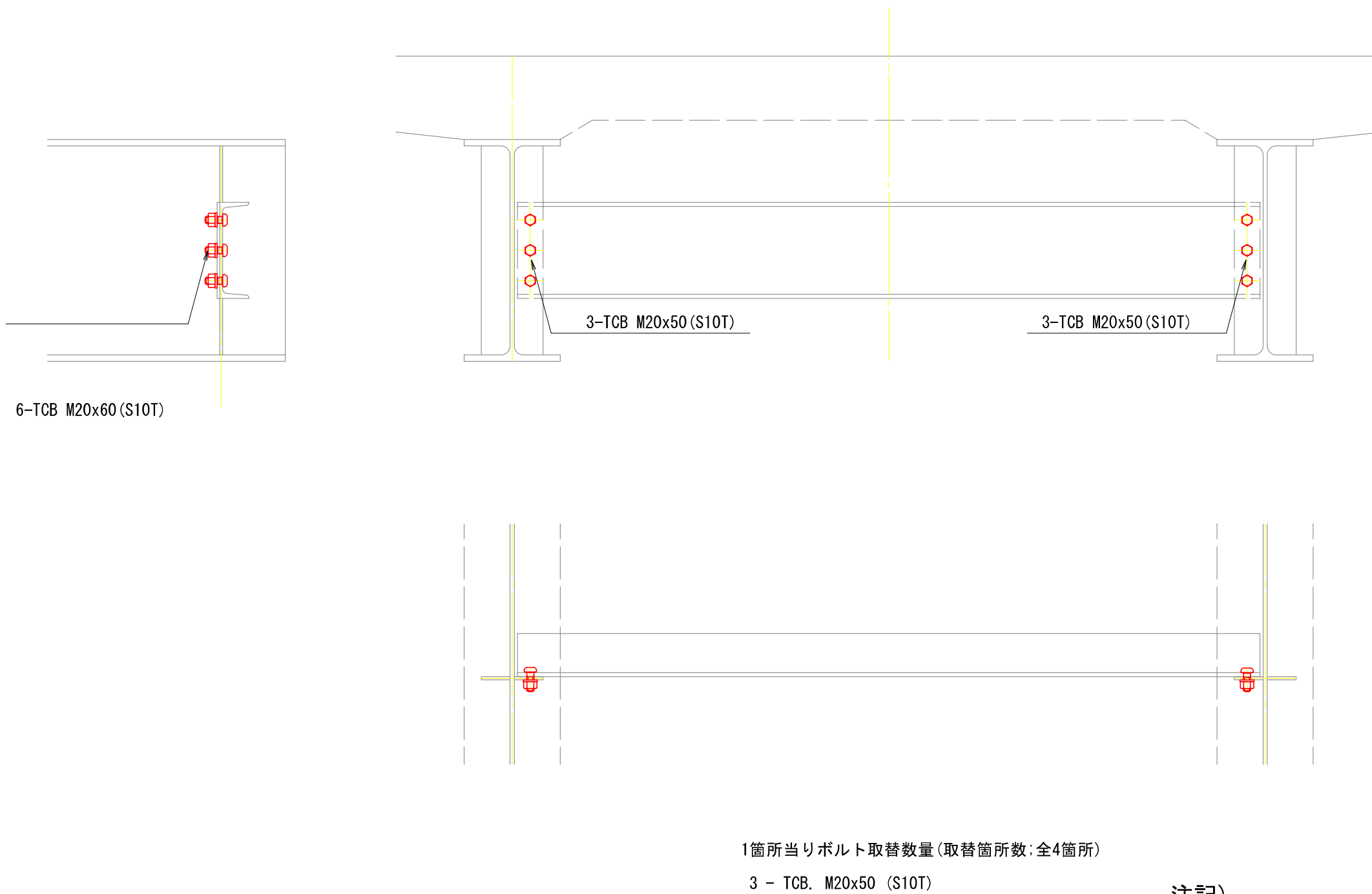
端横桁添接部

S=1:15



中間横桁添接部

S=1:15

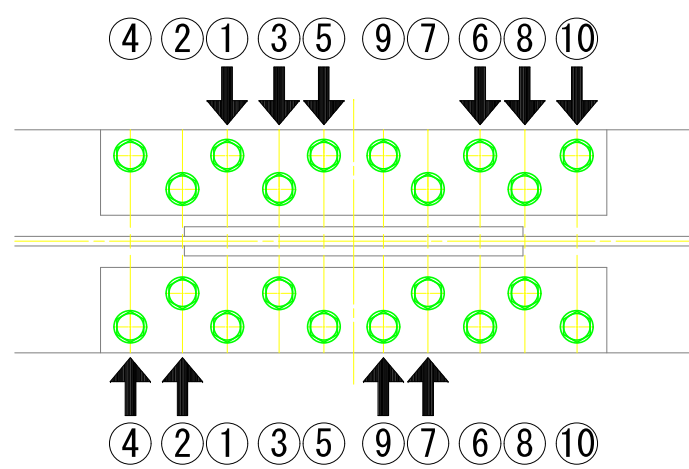


ボルト取替手順図

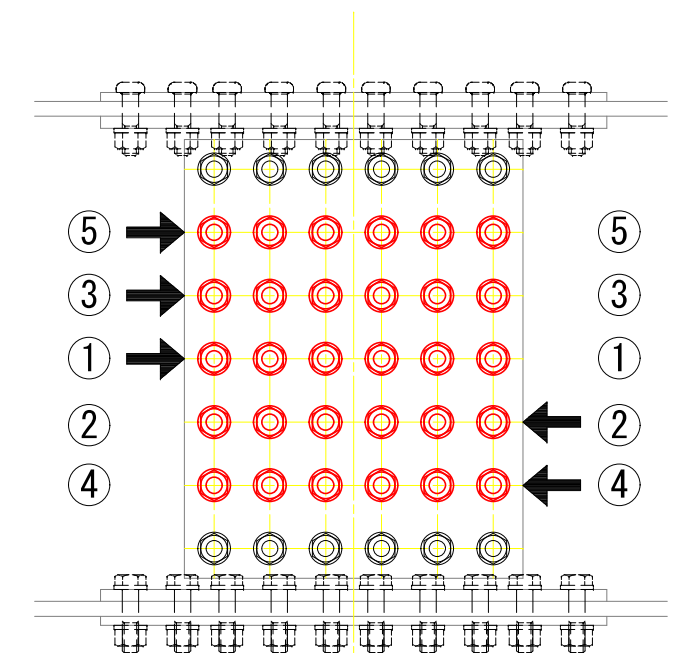
S=1:10

※○番号は、ボルト取替の順序を示す。

主桁上フランジ

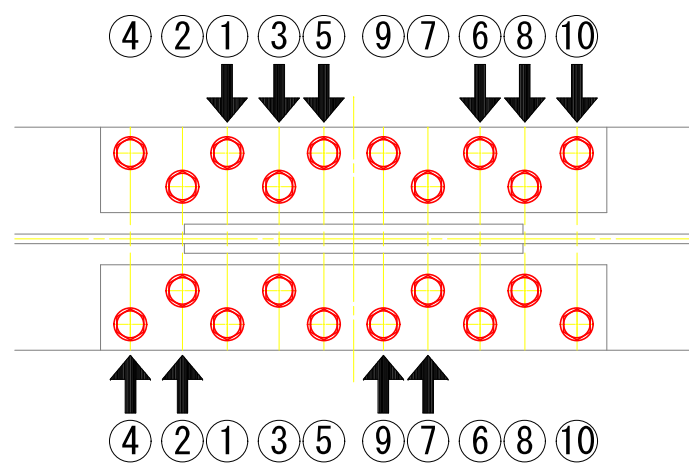


主桁ウエブ

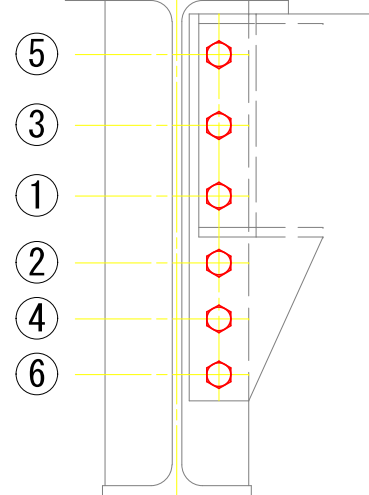


注記)
※1. ウエブ最上段は上フランジと同時施工とする。
※2. ウエブ最下段は下フランジと同時施工とする。

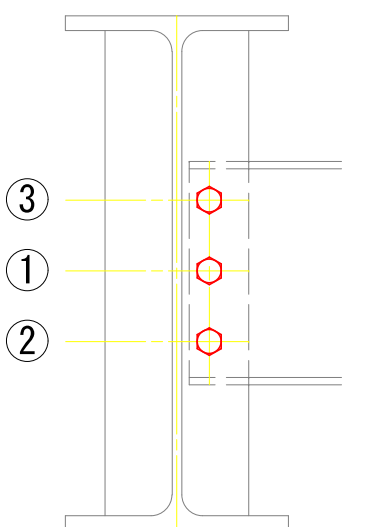
主桁下フランジ



端横桁



中間横桁



注記)
・施工に際しては、足場仮設後現地寸法を再確認のこと。
・ボルト取替は、原則として1本ずつ行うこと。
・既設ボルトに脱落がある場合は、脱落箇所を優先して取替えること。
・施工時は橋面の車両通行を制限する。
・ボルト取替時は橋面に敷鉄板等を設置し、添接部直上に直接荷重を作用させないよう対策すること。
・下フランジのボルト締付は耐力点法により行うこと。
・増加させる導入軸力は現地にて決定すること。
・耐力点法で締付けするボルトは耐遅れ破壊に配慮したボルトを使用すること。

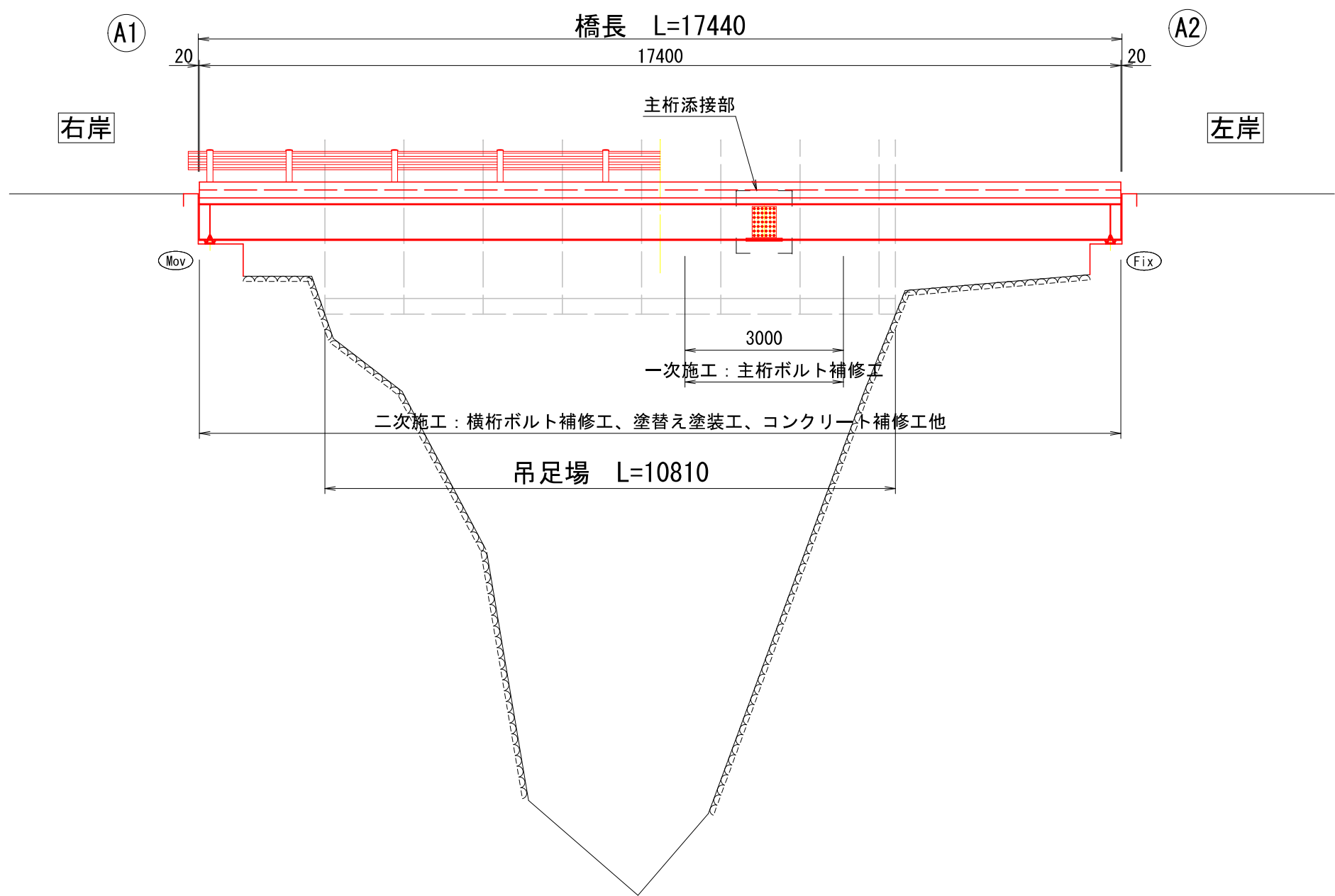
いの町				
工 事 名	6道メ工第83号 令和6年度 町道瓶ヶ森線 上瀬戸橋2号橋梁補修工事	縮 尺	図 示	
図 面 名 称	ボルト補修工詳細図			
路線河川名	町道瓶ヶ森線(上瀬戸橋2号)			
工 事 箇 所	高知県 吾川郡いの町 中野川			
設 計 種 別				
事 務 所 名	いの町本川総合支所 産業建設課	図 面 番 号	12	13

仮設工詳細図(参考図)

上瀬戸橋2号(町道瓶ヶ森線)

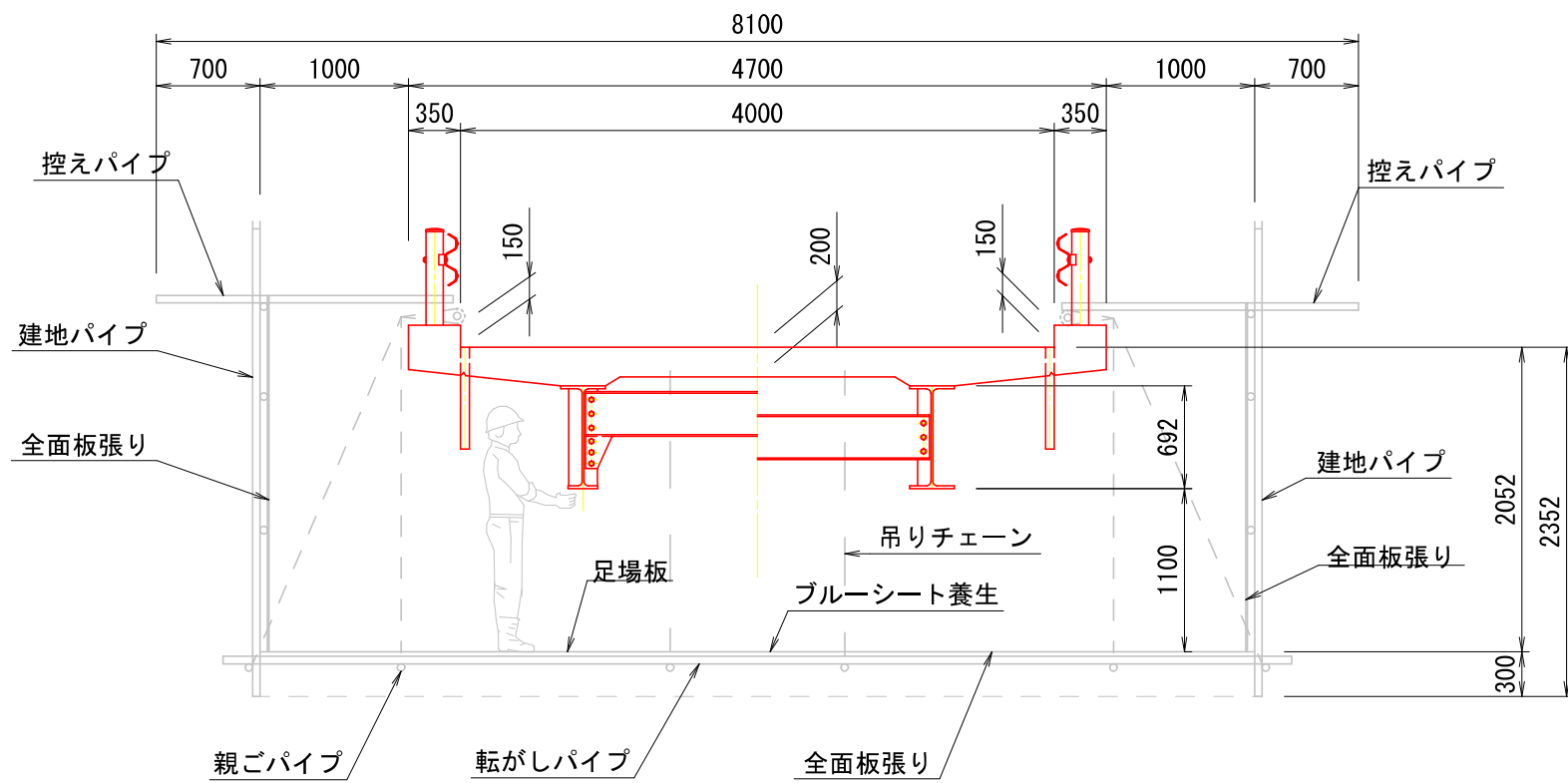
側面図

S=1:100



上部工断面図

S=1:50

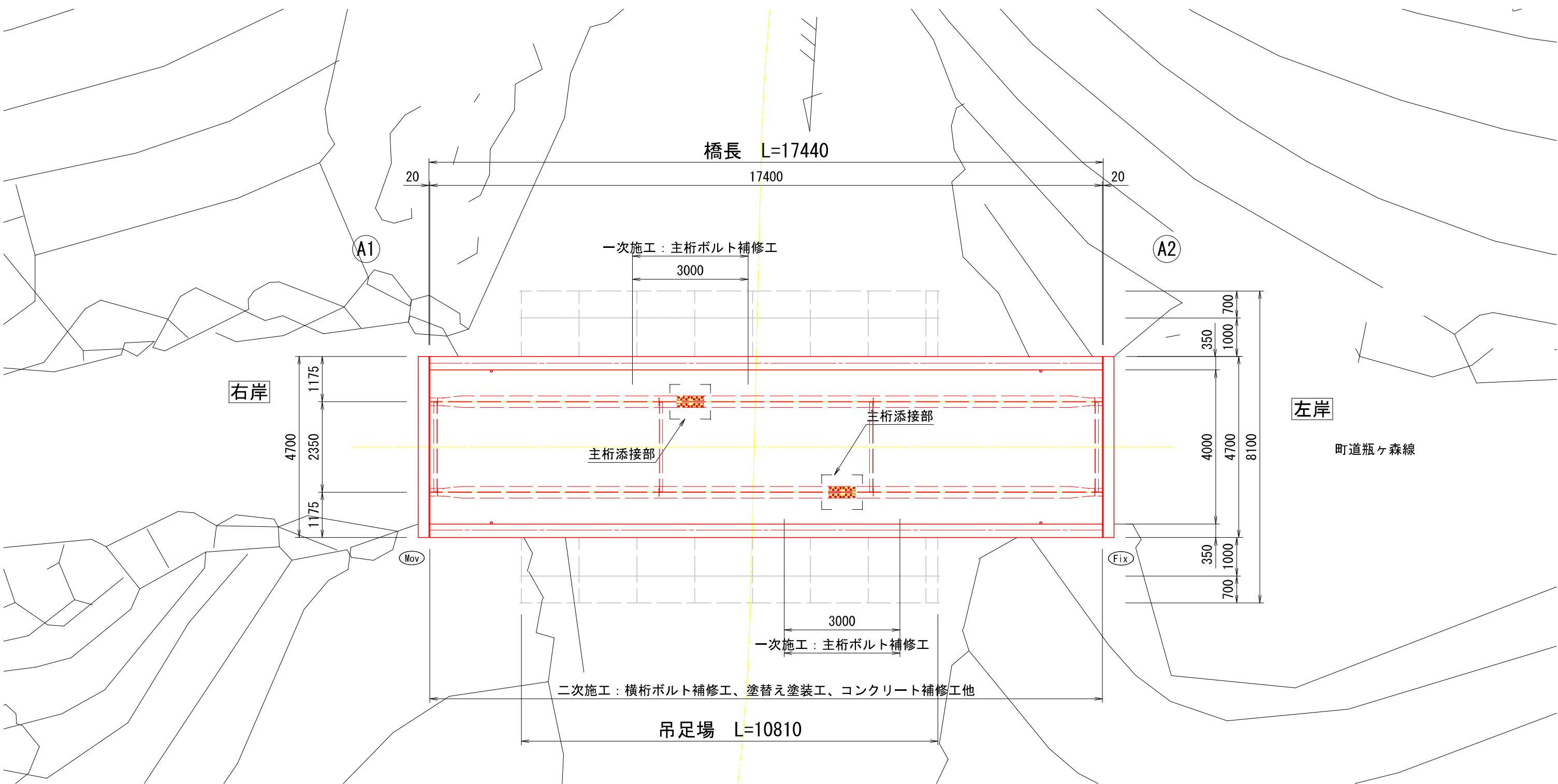


注記

- ・吊りチェーンの添荷部材については、施工時に検討すること。
(防護柵工、全面板張りなど)

平面図

S=1:100



[施工に関する注意事項]

- ・吊足場の死荷重を低減するため段階施工とし、主桁添接部のボルト補修工を一次施工、塗替え塗装工他を二次施工とする。
- ・吊足場の規格・形状等については、現地状況に応じて適宜変更すること。
- ・河川内での作業は非出水期(11~2月)とし、出水状況について十分に注意すること。
- ・環境対策を十分に行うこと。
- ・騒音・振動の低減、水質汚濁の防止、大気汚染や粉塵飛散の防止、悪臭発生の防止
- ・通行に関する安全対策を十分に実施し、一般車両や歩行者の安全を確保すること。
- ・施工時は橋面の車両通行を制限する。
- ・ボルト取替時は橋面に敷鉄板等を設置し、添接部直上に直接荷重を作用させないように対策すること。

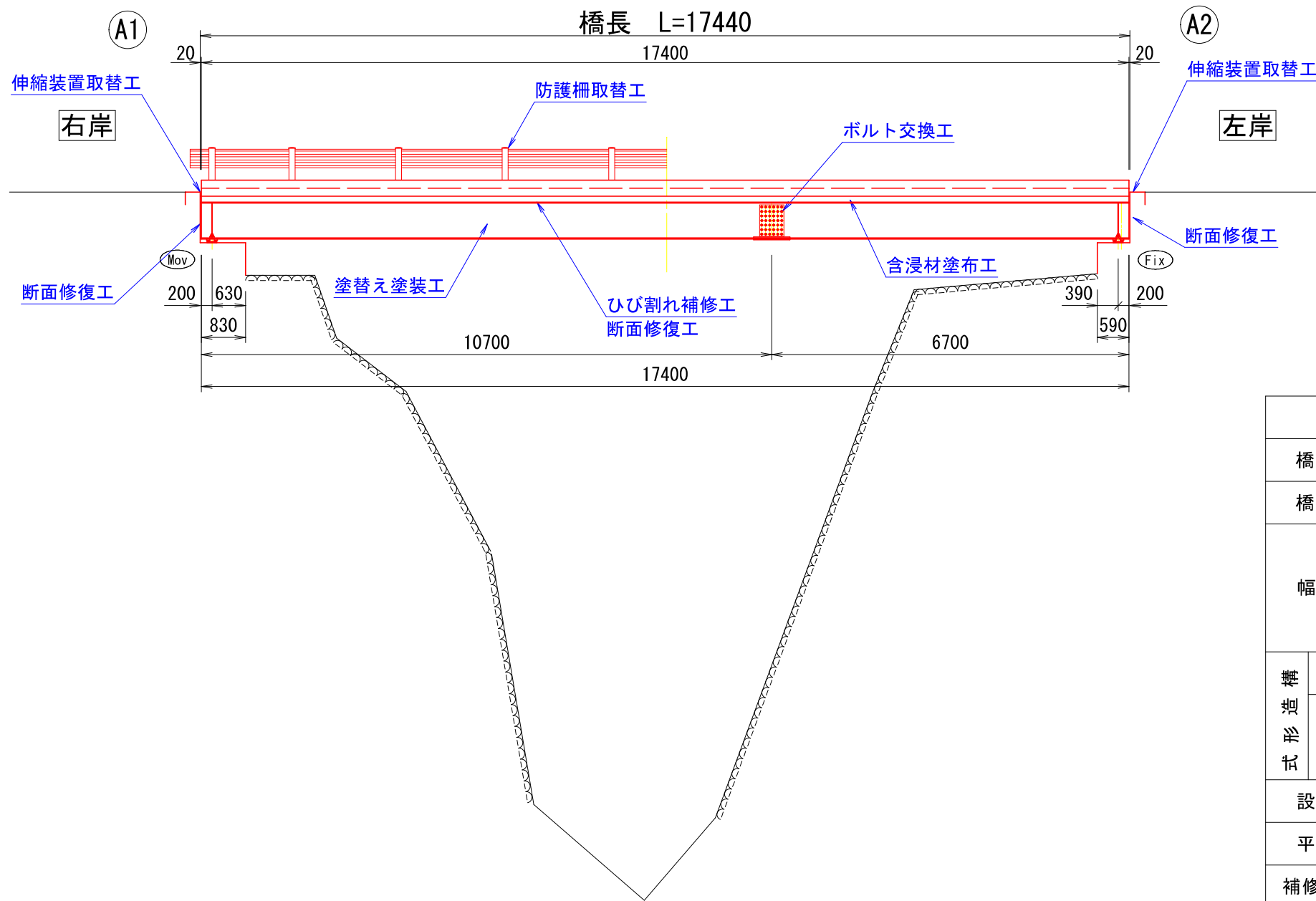
いの町				
工 事 名	6道メ工第83号		令和6年度 町道瓶ヶ森線 上瀬戸橋2号橋梁補修工事	
	仮設工詳細図(参考図)		縮 尺	図 示
図 面 名 称	仮設工詳細図(参考図)			
路線河川名	町道瓶ヶ森線(上瀬戸橋2号)			
工 事 箇 所	高知県 吾川郡いの町 中野川			
設計種別	いの町本川総合支所 産業建設課		図 面 番 号	13
事務所名				13

橋梁補修工一般図

上瀬戸橋2号(町道瓶ヶ森線)

側面図

S=1:100

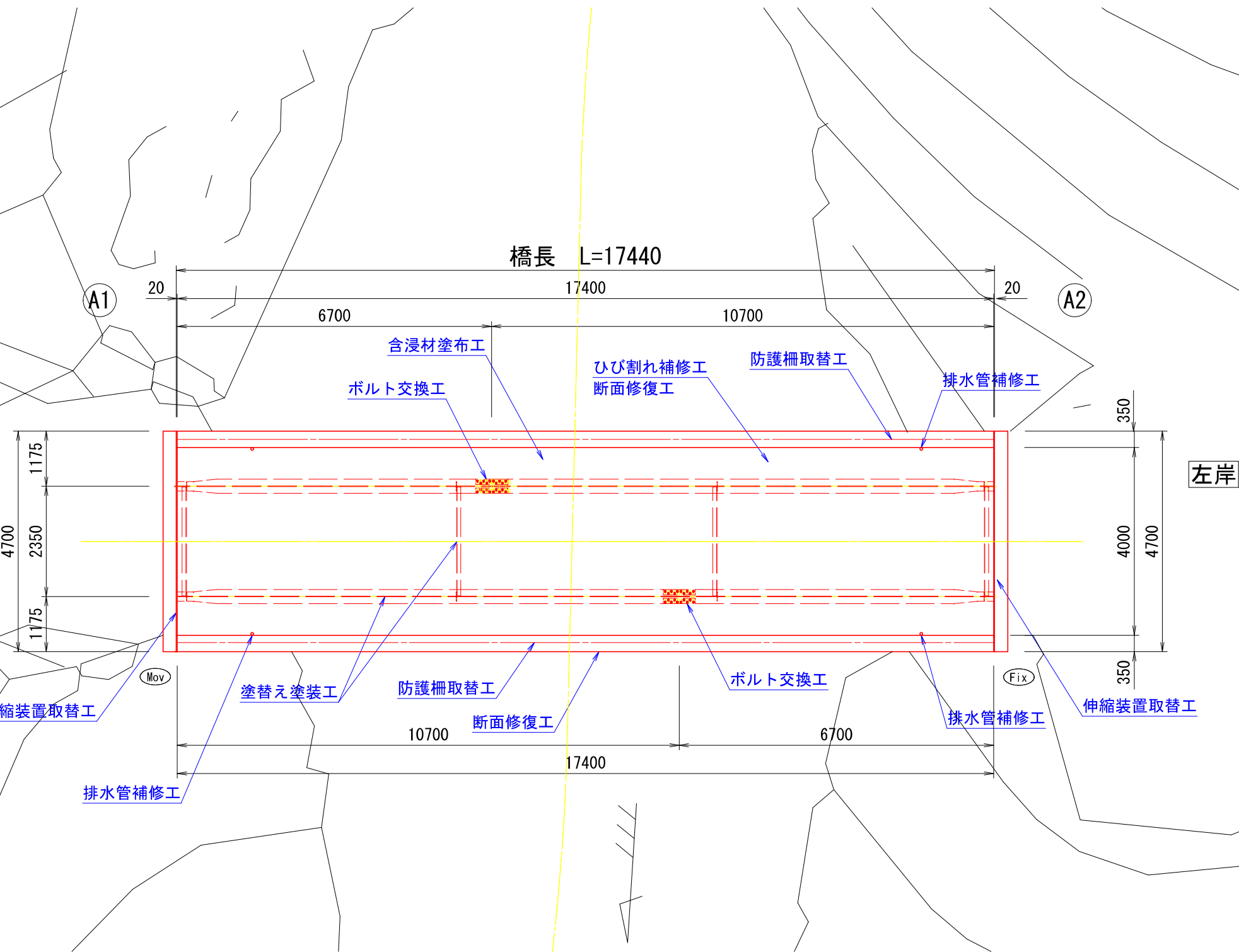


既設橋 設計条件(推定)

橋種	道路橋	
橋長	L=17.50m	
幅員	車道幅員	W=4.00m
	歩道幅員	-
	合計	W=4.00m
上部構造	H形鋼(不明)	
下部構造	A1橋台	小橋台
	A2橋台	小橋台
設計荷重	不明	
平面線形	不明	
補修・補強履歴	不明	
架設年次	1974年(S49年、供用46年)	
適用示方書	不明	

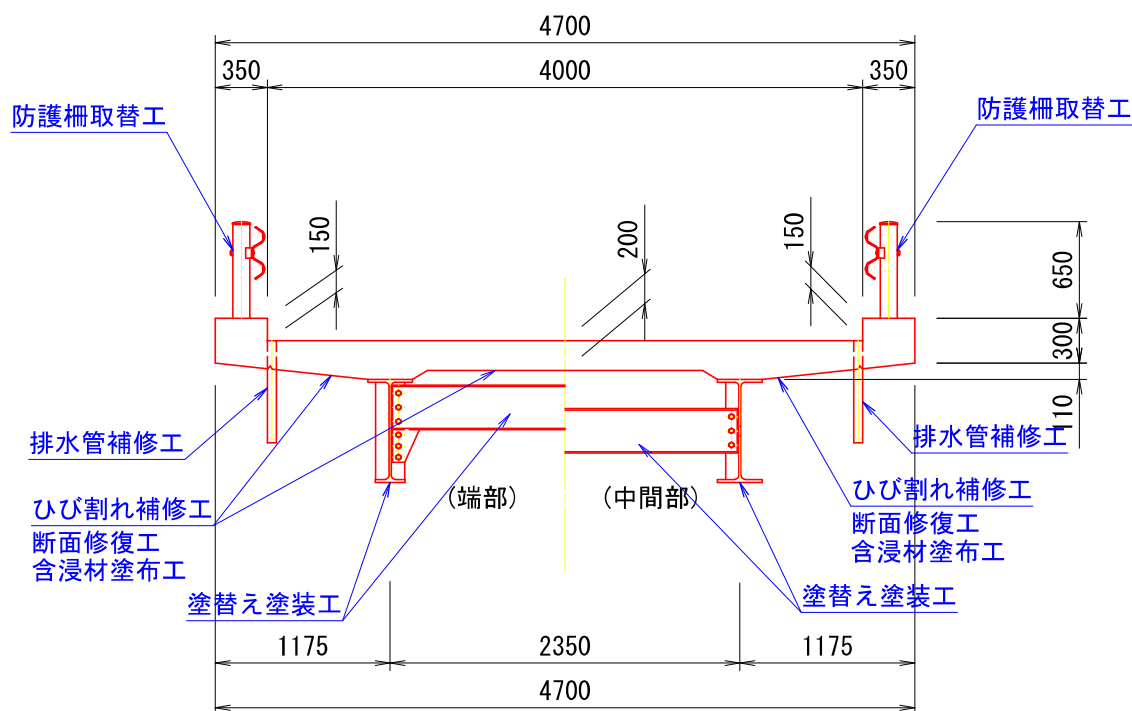
平面図

S=1:100



上部工断面図

S=1:50



注記)

- ・現況地形は道路台帳を基に作成している。
- ・既設橋の形状は現地調査に基づき作成している。

上瀬戸橋2号 損傷一覧表

部材名称	損 傷				補修設計		備 考	
	種 類	有無	判定区分		設計	対策工		
			点検	今回				
上部工 (鋼部材)	鋼材腐食、防食機能の劣化	○	III	III	排水管欠損による水の飛散及び滞水 塗膜劣化による鋼材腐食	○	塗替え塗装工	支保部含む
	鋼材腐食(板減あり)	—						
	亀裂、破断	—						
	鋼板のうき	—						
	ゆるみ、脱落	○			F11Tの遅れ破壊、腐食	○	ボルト交換工	
上部工 主桁・横桁 (コン部材)	ひびわれ							
	漏水・遊離石灰							
	剥離、鉄筋露出、浮き							
	豆板、欠損							
上部工 床 版 (コン部材)	ひびわれ	○	II	I ～ II	鉄筋のかぶり不足	○	ひびわれ補修工	
	漏水・遊離石灰	○			ひびわれからの水の浸入、滞水 鉄筋のかぶり不足	○	ひびわれ補修工	
	剥離、鉄筋露出、浮き	○			ひびわれからの水の浸入、滞水 鉄筋のかぶり不足	○	断面修復工	
	豆板、欠損	○			施工不良	○	断面修復工	
下部工	ひびわれ	—	III	III				
	遊離石灰	—						
	剥離、鉄筋露出、浮き	—						
	豆板、欠損	○			落石の衝突	○	断面修復工	
	洗掘	—						
支承工	腐食、防食機能の劣化	○	III	III	伸縮装置からの漏水などが原因の塗膜 劣化による鋼材の腐食	○	塗替え塗装工	
	機能障害	—						
橋面工	A s 舗装のひび割れ、欠損		II	II				橋面舗装なし
	C o 舗装のひび割れ、欠損							〃
	路面の凹凸	○			不明	×		
	伸縮装置の損傷、機能不足	○			経年劣化、車両の衝撃	○	伸縮装置取替工	
排水工	腐食、欠損	○	I	I ～ II	不明、長さ不足	○	排水管補修工	
	機能不足、滞水	—						
高欄工 (鋼部材)	変形・欠損	○	I	II ～ III	落石の衝突	○	防護柵取替工	地覆に損傷あり
	腐食・塗装劣化	○			落石衝突部からの腐食の進行	○	防護柵取替工	〃
	ボルトの緩み・脱落	○			落石の衝突	○	防護柵取替工	〃
高欄工 (コン部材)	ひびわれ							
	漏水・遊離石灰							
	剥離、鉄筋露出、浮き							
	豆板、欠損							
コンクリート 試験結果	圧縮強度		○	問題なし				
	中性化深度測定		○	問題なし				
	塩化物含有量試験		△	基準値に近似している	○	含浸材塗布工		

注記) ハッチング部は、損傷の判定区分IIIもしくはコンクリート試験のOUTを示す。

上瀬戸橋2号 コンクリート試験結果

項 目	単位	評価値	R C床版		備 考
			調査値	判定	
圧縮強度	N/mm2	18	56.3	○	○:18以上
中性化	深 さ	mm	2.9	○	○:10以上
	残り深さ	mm	27.1	○	○:100以上
	到達年数	年	4867	○	○:1.2以下
塩化物含有量試験	kg/m3	1.2	1.07	○	○:1.2以下

上瀬戸橋2号 塗膜調査結果

有害物質	調査結果		備 考
	含有量	判定	
P C B	<0.10mg/kg	○	○:0.5未満
鉛	9.9wt%	×	○:0.06以下
六価クロム	0.13wt%	○	○:1.0未満

注記) 塗膜調査は別途業務にて実施。

いの町

工 事 名	令和6年度 町道瓶ヶ森線 上瀬戸橋2号橋梁補修工事		
図 面 名 称	橋梁補修工一般図	縮 尺	図 示
路線河川名	町道瓶ヶ森線(上瀬戸橋2号)		
工 事 箇 所	高知県 吾川郡いの町 中野川		
設 計 種 別			
事 務 所 名	いの町本川総合支所 産業建設課	図 面 番 号	3 13